

最近の県経済動向

Fukushima Economic Performance Monthly

平成21年12月25日

目次

1 本県の経済概況	1～2
2 主な指標の動き	3
(1) 個人消費	3～4
(2) 建設需要	5～7
(3) 生産活動	8～10
(4) 雇用・労働	11～13
(5) 物価	14
(6) 企業・金融	15～16
(7) 市場	17
3 主要経済指標	18～23
4 参考	24
1 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会)	24～26
2 景気動向指数(福島県)	27
3 福島県金融経済概況(日本銀行福島支店)	28
4 月例経済報告(内閣府)	28
5 「最近の県経済動向」総合判断(福島県)	28

1 本県の経済概況

◆ 総合判断

県内の景気は、生産活動において、緩やかながら持ち直しの動きが続いているものの、雇用は厳しい状況が続いており、個人消費も乗用車など一部に明るい動きがみられるが総じて弱い状態にあるなど、引き続き厳しい状況にある。

(総合判断:前月据置 →)

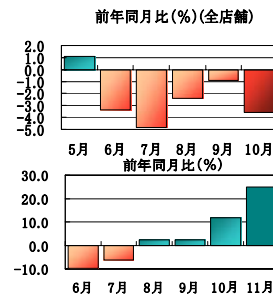
個別判断

◆ 概要

(1) 個人消費 【 → 】 ◆ 乗用車など一部に明るい動きがみられるが、総じて弱い状態にある。

◆ 大型小売店販売額 (10月)

全店舗ベースで総額179億円、対前年同月比3.6%減(既存店前年同月比7.1%減)となり、5か月連続で前年を下回っている。



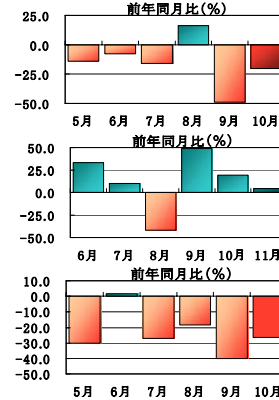
◆ 乗用車新規登録台数 (11月)

新規登録台数は6,265台、対前年同月比24.9%増となり、4か月連続で前年を上回っている。

(2) 建設需要 【 → 】 ◆ 民間需要は低調に推移している。公共工事は前年を上回っている。

◆ 新設住宅着工戸数 (10月)

新設住宅着工戸数は835戸、対前年同月比20.3%減となり、2か月連続で前年を下回っている。



◆ 公共工事請負金額 (11月)

工事請負金額は総額約156億円、対前年同月比4.3%増となり、3か月連続で前年を上回っている。

◆ 業務用建築物着工棟数 (10月)

業務用着工棟数は152棟、対前年同月比26.6%減となり、4か月連続で前年を下回っている。

(3) 生産活動 【 → 】 ◆ 緩やかながら持ち直しの動きが続いている。

◆ 鉱工業指数 (10月)

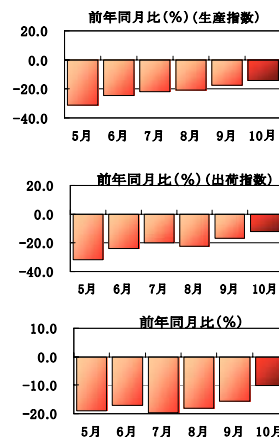
鉱工業生産指数は90.6(原指数・速報値)、対前年同月比14.0%減となり、15か月連続で前年を下回っている。なお、季節調整済指数は85.2(速報値)、対前月比1.7%増となり、2か月連続で前月を上回っている。

鉱工業出荷指数は94.8(原指数・速報値)、対前年同月比12.1%減となり、13か月連続で前年を下回っている。

鉱工業在庫指数は103.0(原指数・速報値)、対前年同月比20.0%減となり、7か月連続で前年を下回っている。

◆ 大口電力使用量 (10月)

電力使用量は535,796kWh、対前年同月比10.2%減となり、12か月連続で前年を下回っている。



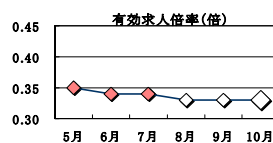
(4) 雇用・労働 【 ➡ 】 ◆ 雇用・労働は、引き続き厳しい状況にある。

◆ 求人倍率 (10月)

新規求人倍率は0.64倍(季節調整値)、前月より0.03ポイント低下した。

有効求人倍率は0.33倍(季節調整値)、前月と同率であった。

なお、有効求人数は平成19年11月以降前年を下回っており、一方、有効求職者数は平成19年10月以降前年を上回っている。



◆ 雇用保険受給者実人員 (10月)

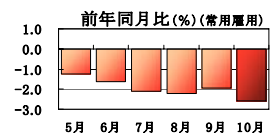
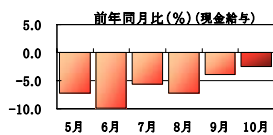
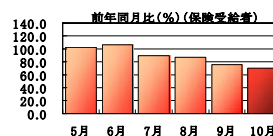
受給者実人員は16,993人、対前年同月比70.4%増となり、17か月連続で前年を上回った。

◆ 労働 (10月)

現金給与総額指数は78.6(事業所規模5人以上)、対前年同月比2.5%減となり、11か月連続で前年を下回っている。なお、事業所規模30人以上は78.0、対前年同月比3.3%減となり、17か月連続で前年を下回っている。

所定外労働時間指数は86.0、対前年同月比8.0%減となり、14か月連続で前年を下回っている。

常用雇用指数は101.5、対前年同月比2.6%減となり、7か月連続で前年を下回っている。



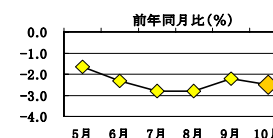
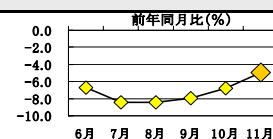
(5) 物 価 【 ➡ 】 ◆ 企業物価指数、消費者物価指数(CPI)ともに下落している。

◆ 国内企業物価指数 (11月)

物価指数は102.2(速報値)、対前年同月比4.9%減となり、11か月連続で前年を下回っている。なお、前月比は0.1%増となり、4か月振りに上昇している。

◆ 福島市消費者物価指数 (10月)

物価指数は100.7となり、対前年同月比2.5%減となり、9か月連続で前年を下回っている。なお、対前月比は0.6%減となり、3か月振りに下落している。



(6) 企業・金融 【 ➡ 】 ◆ 企業倒産は予断を許さない状況が続いている。金融預貸残高は預金、貸出ともに増加している。

◆ 企業倒産 (11月)

倒産件数は10件、対前年同月比23.0%減となり、3か月連続で前年を下回っている。

負債総額は15億5,100万円、対前年同月比59.0%減となり、4か月連続で前年を下回っている。

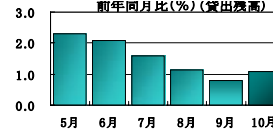
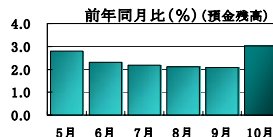
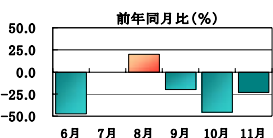
◆ 金融機関預貸残高 (10月)

預金残高は6兆4,180億円、対前年同月比3.0%増となり、平成19年3月以降、前年を上回る動きが続いている。

貸出残高は3兆8,650億円、対前年同月比1.1%増となり、13か月連続で前年を上回っている。

◆ 貸出約定平均金利 (10月)

平均金利は1.932%となり、前月より0.022ポイント低下し、11か月連続で前月を下回っている。



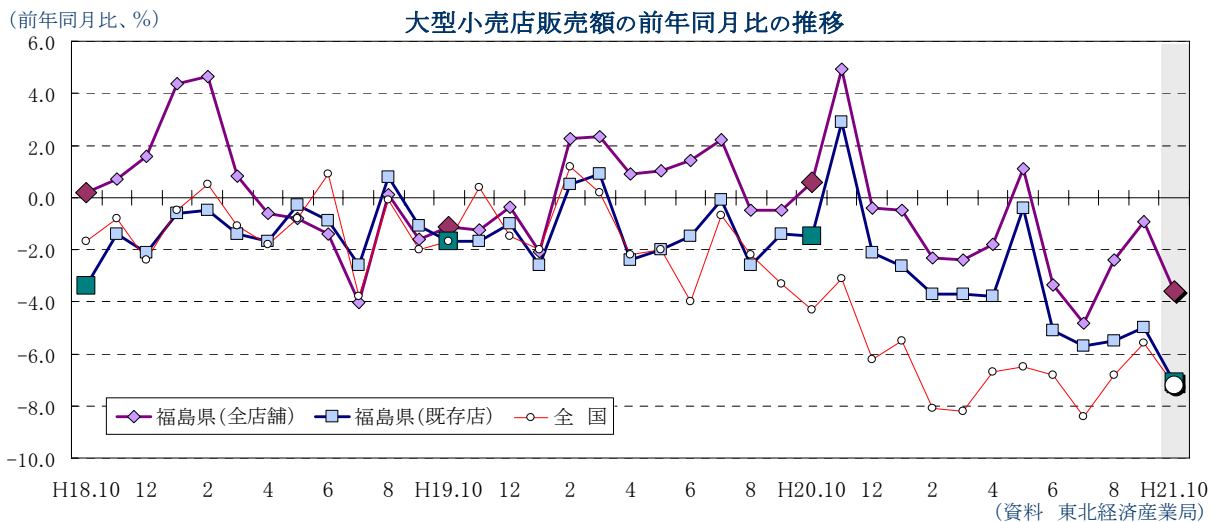
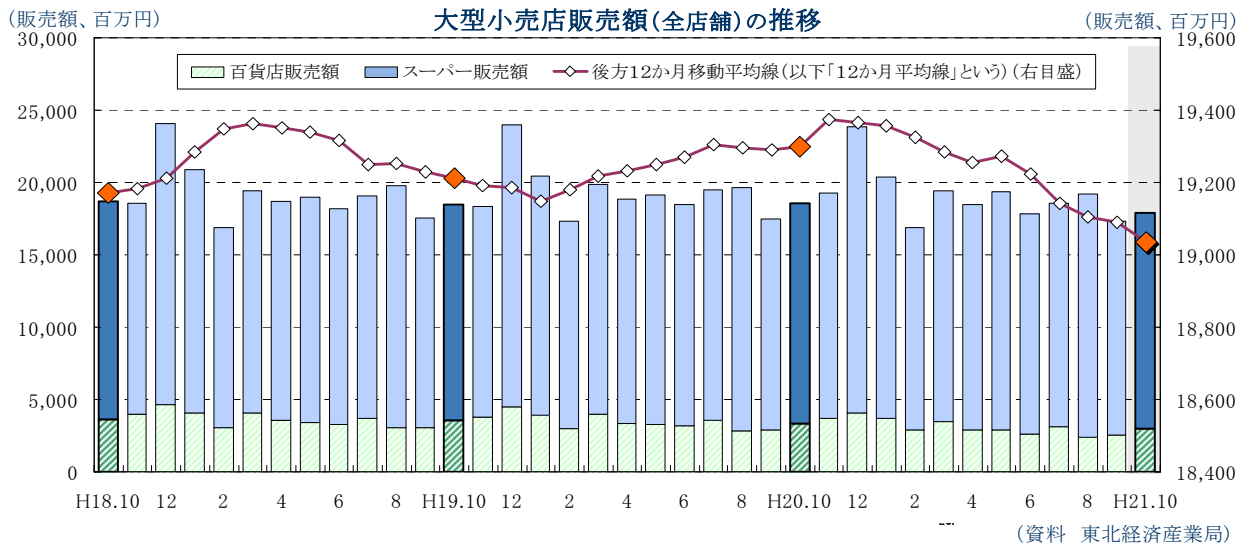
※備考 1 指標名が緑字の場合には、前回公表より指標が改善したことを表しており、指標名が赤字の場合には、前回公表より指標が悪化していることを表しており、指標名が灰色の場合には、同水準で推移している、または個別には判断のつかない指標であることを表しています。

2 主な指標の動き

(1) 個人消費

◆ **大型小売店販売額(10月)**は全店舗ベースで**総額179億円**、対前年同月比**3.6%減**となり、**5か月連続**で前年を下回っている。一方、既存店ベースの対前年同月比は**7.1%減**となり、**11か月連続**で前年を下回っている。

内訳をみると、百貨店は全店舗ベースで対前年同月比**10.9%減**、既存店ベースで対前年比**7.4%減**となっている。一方、スーパーは全店舗ベースで対前年同月比**2.0%減**、既存店ベースで対前年同月比**7.0%減**となっている。

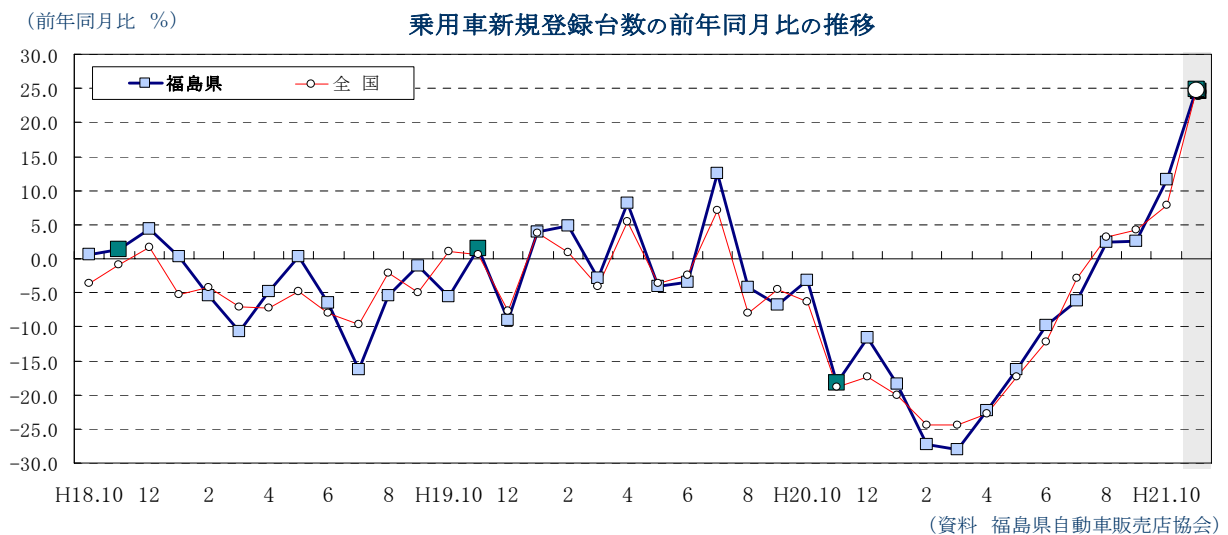
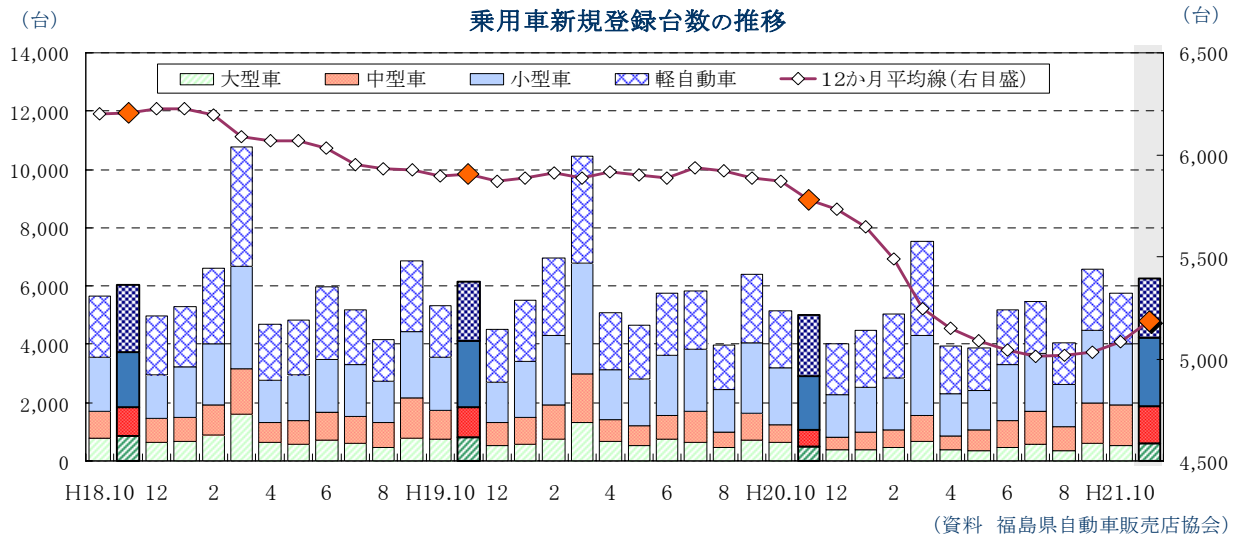


【大型小売店販売額】

調査対象となる百貨店4店とスーパー80店(10月末現在)の総販売金額です。既存店ベースの前年同月比とは、前年同月も調査の対象であった店舗のみを比較するものです。過去1年間に開・廃業した店舗の販売額は除かれていますので、前年と同一条件で消費動向をみることができます。

◆ 乗用車新規登録台数(11月)は6,265台、対前年同月比24.9%増となり、4か月連続で前年を上回っている。

内訳をみると、大型車、中型車、小型車は前年を上回った。一方、軽自動車は前年を下回っている。

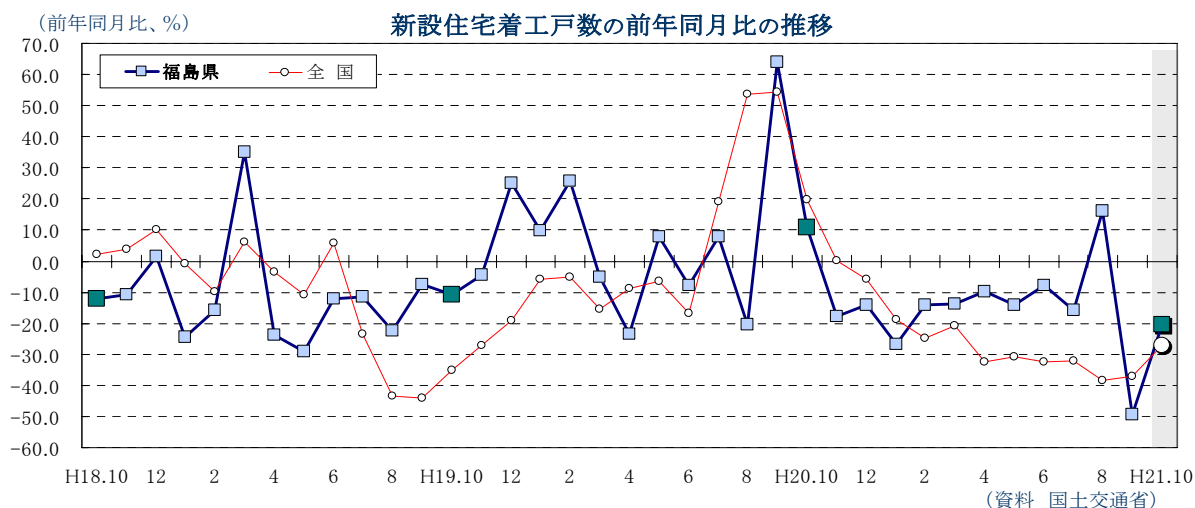
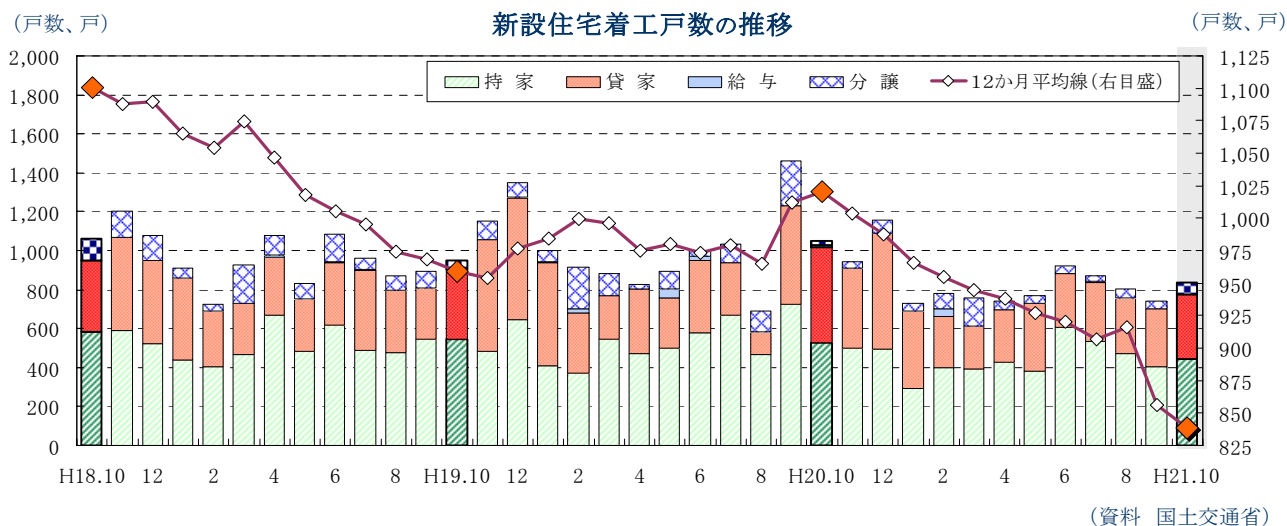


【乗用車新規登録台数】

乗用車の購入により、運輸支局及び軽自動車検査協会に登録された台数です。耐久消費財の販売動向を消費側からとらえた統計です。自動車を購入した際には必ず登録をするため網羅性があり、速報性もあります。3月や9月の決算期には台数が多くなるなど、顕著な季節性があります。

(2) 建設需要

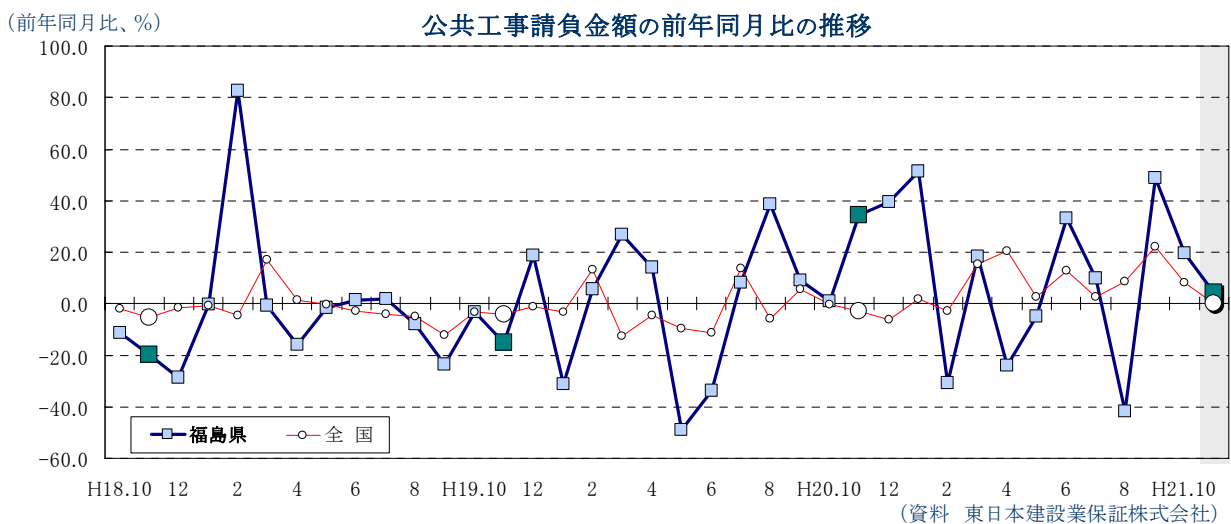
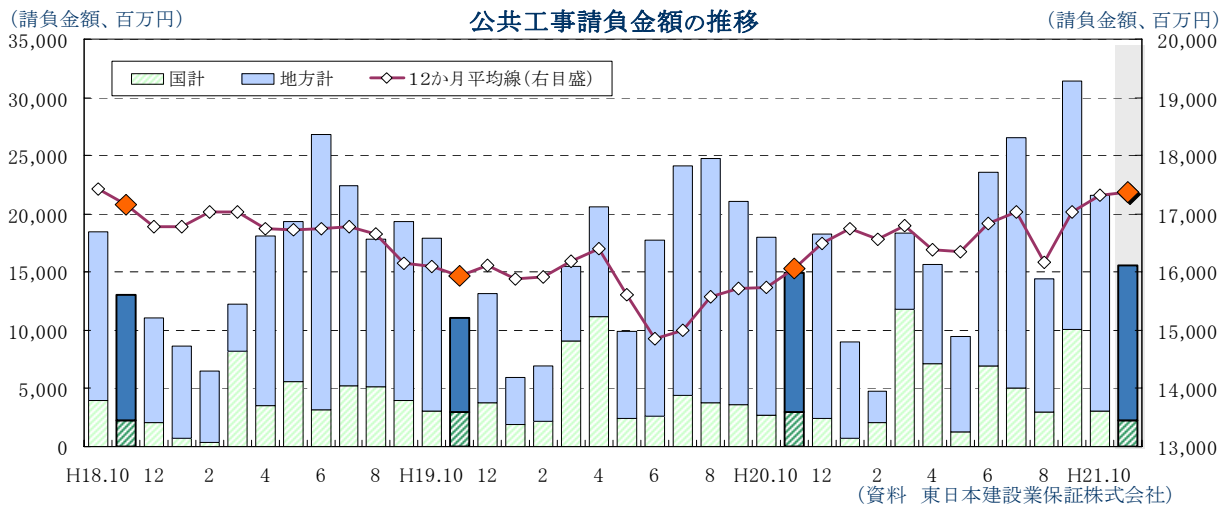
◆ 新設住宅着工戸数(10月)は835戸、対前年同月比20.3%減となり、2か月連続で前年を下回っている。



【新設住宅着工戸数】

家やマンションを建てる時に、建築主から都道府県知事にその旨を届けた戸数を集計したもので、住宅投資の動きを示す代表的な指標です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。所得・地価・建築費・金利などに敏感に反応して動きます。また、政府の景気対策で「住宅ローン減税」のような政策の影響も受けます。

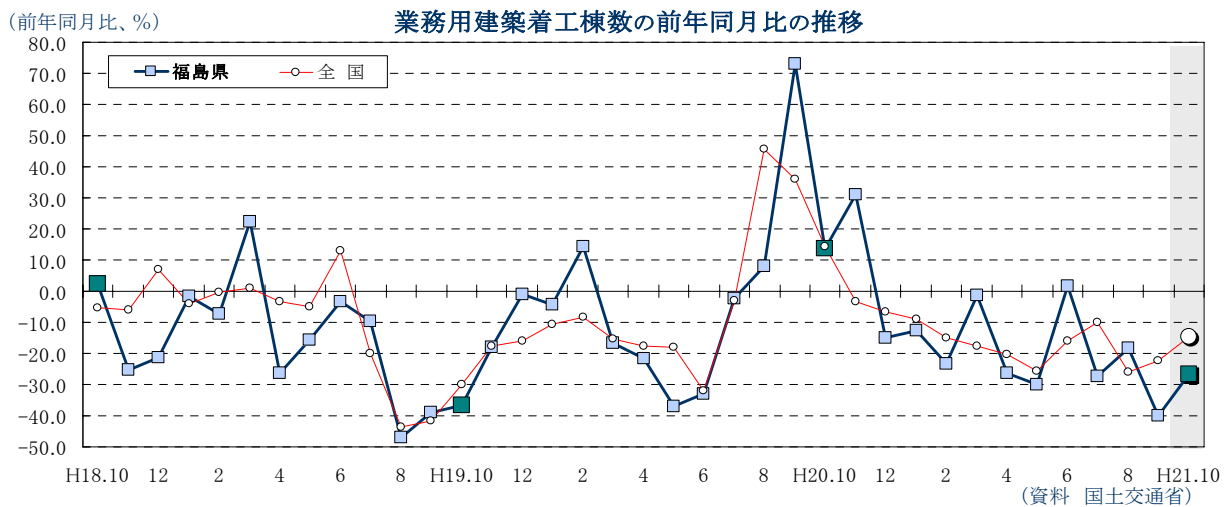
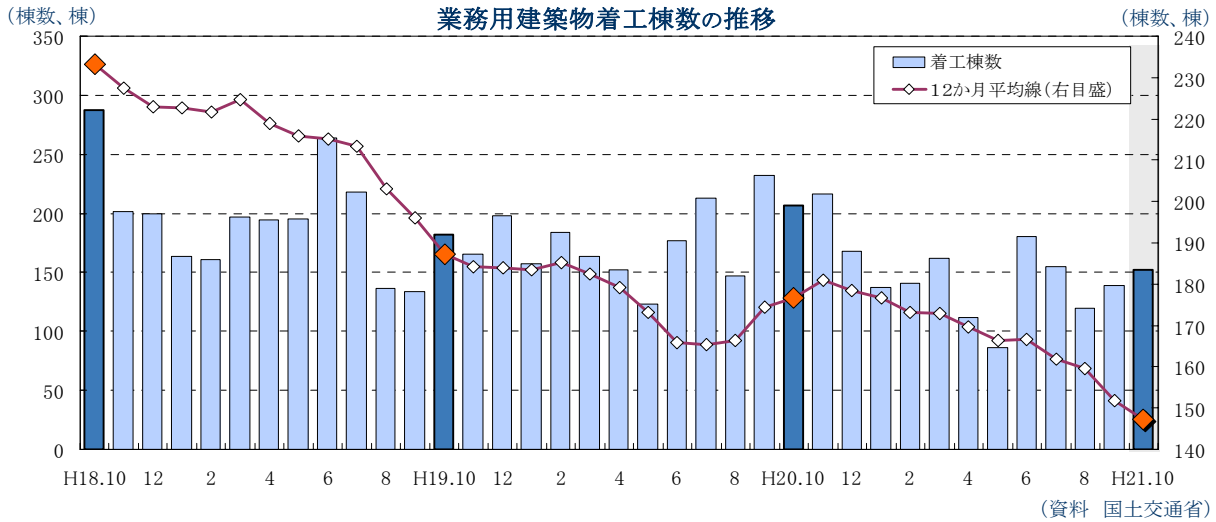
◆ **公共工事請負金額(11月)**は総額約156億円、対前年同月比**4.3%増**となり、**3か月連続**で前年を上回っている。
 内訳をみると、国の機関は3か月振りに前年を下回っている。一方、地方の機関は3か月連続で前年を上回っている。



【公共工事請負額】

国、地方公共団体、独立行政法人等が発注した公共工事のうち、保証事業会社の保証による公共工事について、保証事業会社が請負金額を取りまとめて集計したもので、発注者ごとに分かります。

◆ 業務用建築物着工棟数(10月)は152棟、対前年同月比26.6%減となり、4か月連続で前年を下回っている。



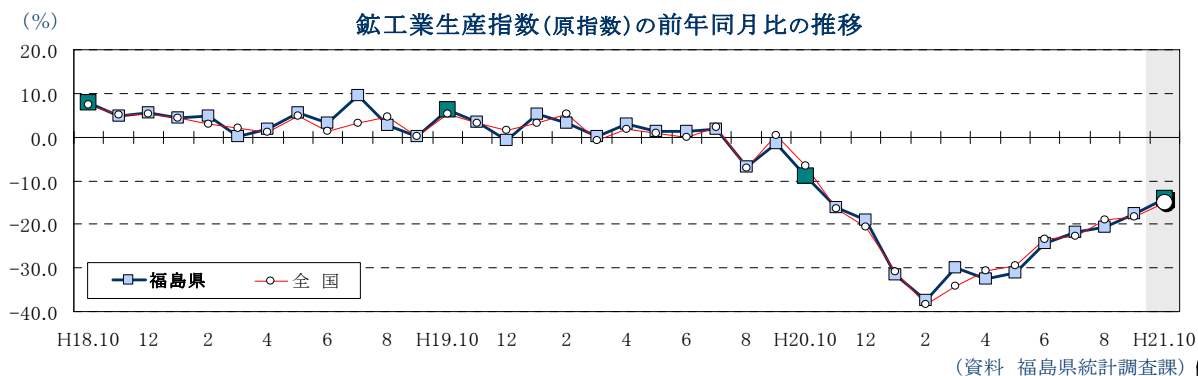
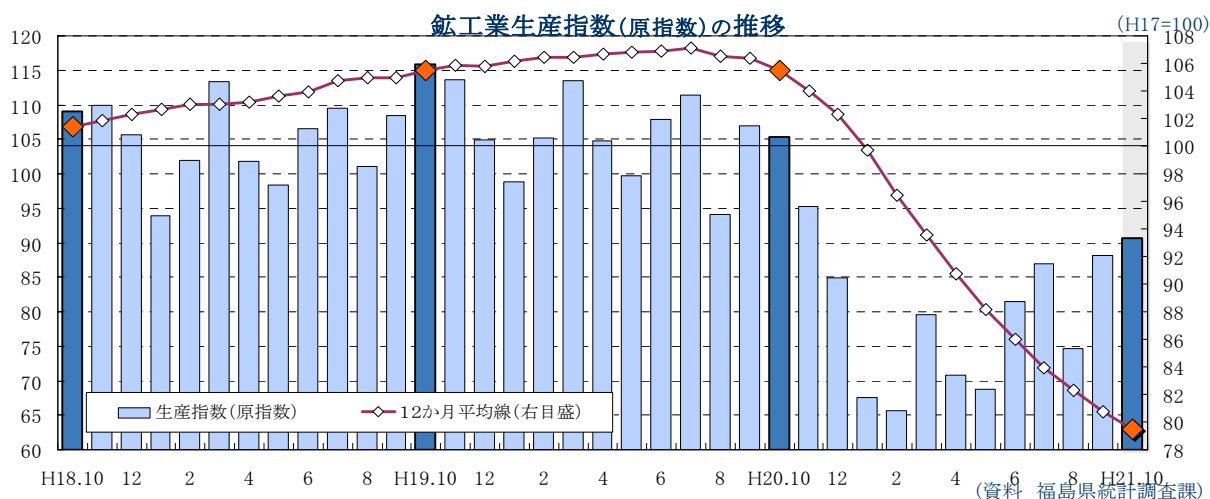
【業務用建築物着工棟数】
 建築主が建築物を建築しようとする場合は、その旨を都道府県知事に届けなければならず、この届出をもとに集計したものが建築物着工統計です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。「業務用」とは、全建築物から居住専用と居住産業併用を除いたもので、企業の設備投資を反映します。

(3) 生産活動

◆ **鉱工業生産指数(10月)**は原指数**90.6**(速報値)、対前年同月比**14.0%減**となり、**15か月連続**で前年を下回っている。季節調整済指数は**85.2**(速報値)、対前月比**1.7%増**となり、**2か月連続**で前月を上回っている。業種別(季節調整済指数)では、一般機械工業、電気機械工業、電子部品・デバイス工業、化学工業、繊維工業などで前月を上回っている。

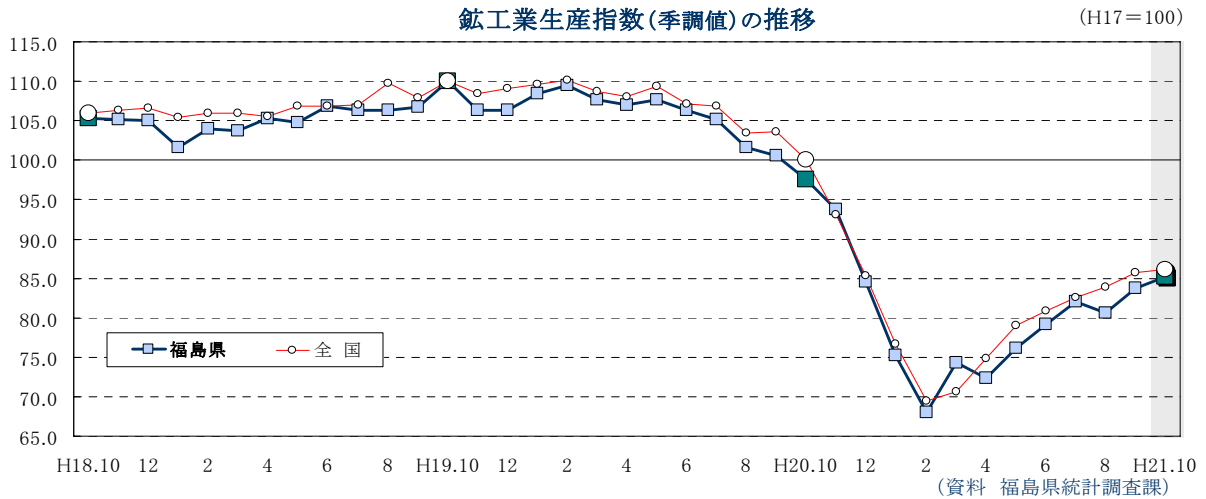
◆ **鉱工業出荷指数(10月)**は原指数**94.8**(速報値)、対前年同月比**12.1%減**となり、**13か月連続**で前年を下回っている。季節調整済指数は**92.1**(速報値)、対前月比**2.6%増**となり、**2か月連続**で前月を上回っている。

◆ **鉱工業在庫指数(10月)**は原指数**103.0**(速報値)、対前年同月比**20.0%減**となり、**7か月連続**で前年を下回っている。季節調整済指数は**103.7**(速報値)、対前月比**3.0%減**となり、**2か月連続**で前月を下回っている。



【鉱工業指数】

鉱工業製品の生産量、出荷量、在庫量を基準年を100として(平成17年=100)指数化したものです。好況時にはモノがよく売れ、企業が製品を増産するため生産、出荷とも上昇します。景気が悪化してくるとモノが売れなくなるため出荷の減少、在庫の増加局面を経て生産の減少に至ります。



【原指数と季節調整済指数】

鉱工業指数の原指数は、指数作成用データをそのまま指数化したもので、大型連休や決算期等の季節的要因の影響を受けて、毎年一定の変動を繰り返しています。長期的な動向をみる場合は、主に原指数の前年同月比が使用されます。

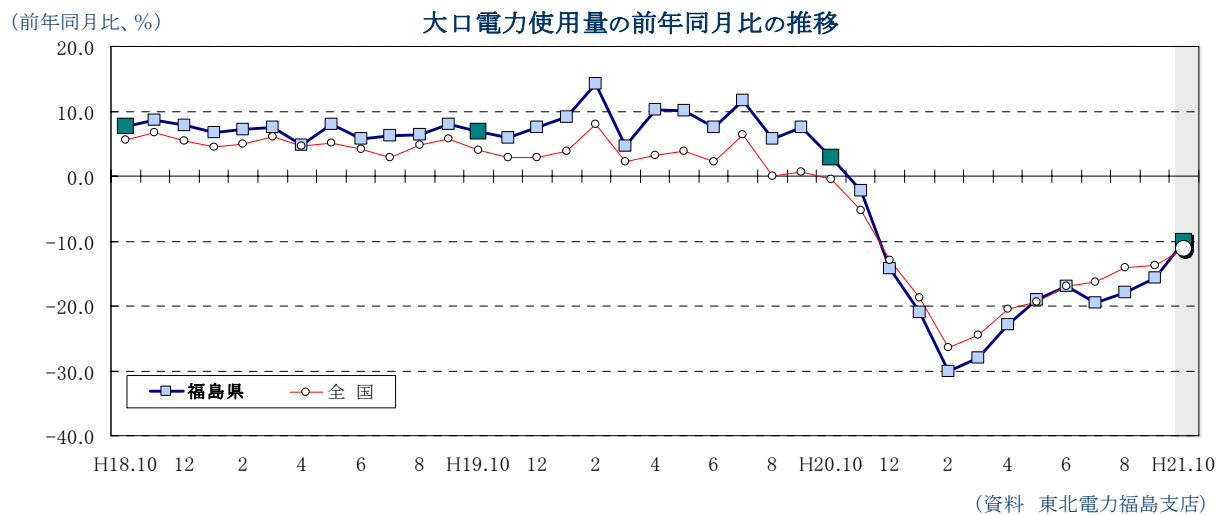
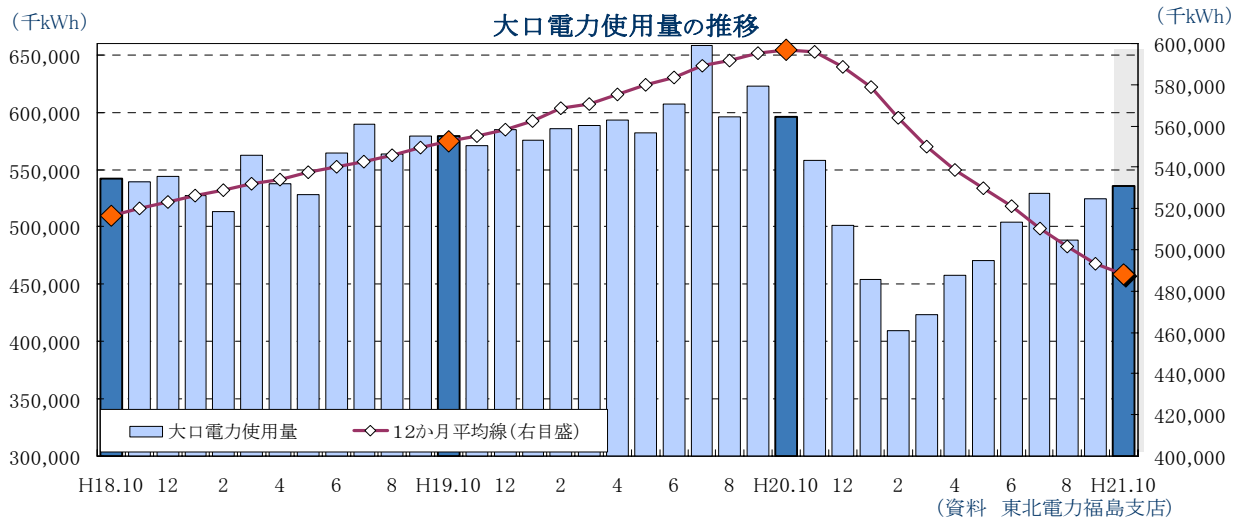
一方、季節調整済指数は、原指数から季節的要因を取り除き、毎月同じ基準で指数の動きがみられるようになっており、直近の動向をみる場合は、主に季節調整済指数の前月比が使用されます。

【前月比と前年同月比】

前年の同じ月と比較した増減を示す「前年同月比」は量的水準の変動を示し、前月と比較した増減を示す「前月比」は直近の変化方向(瞬間風速)を示します。経済統計には季節性を持つものがあり、単純に前月と比較できない場合があるので、季節調整値で前月比を求める場合と、季節性のない統計(例:金利等)では季節調整をかけずに前月比をとる場合があります。

鉱工業指数では原指数の前年同月比で1年前の水準との違いをみて、また、季節調整済指数の前月比で足下の動きをみるというように複合的に利用します。

◆ 大口電力使用量(10月)は535,796千kWh、対前年同月比10.2%減となり、12か月連続で前年を下回っている。



【大口電力使用量】

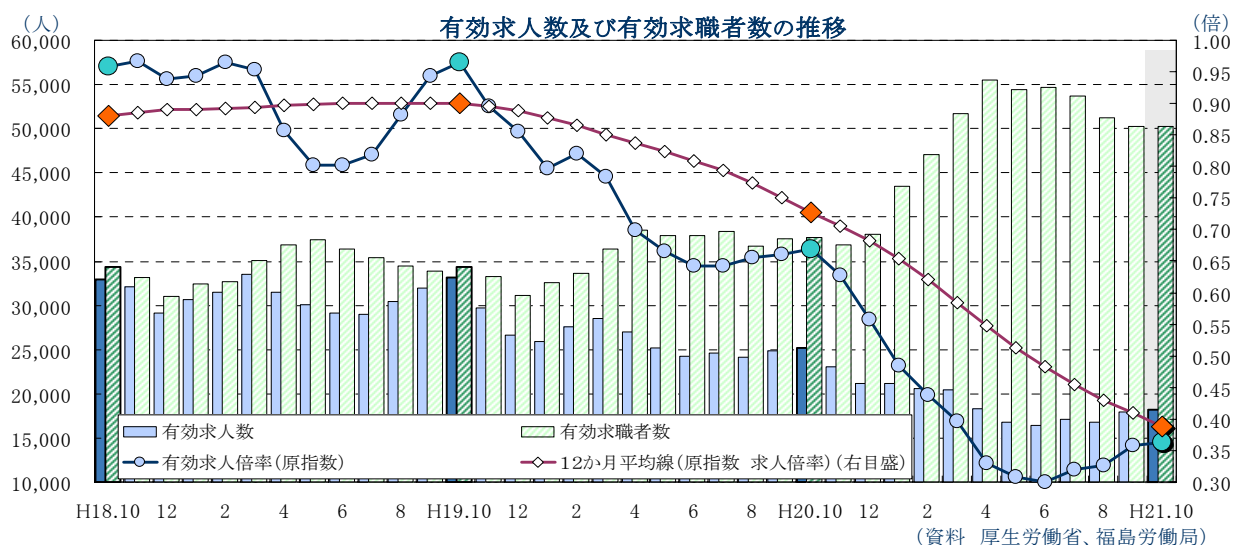
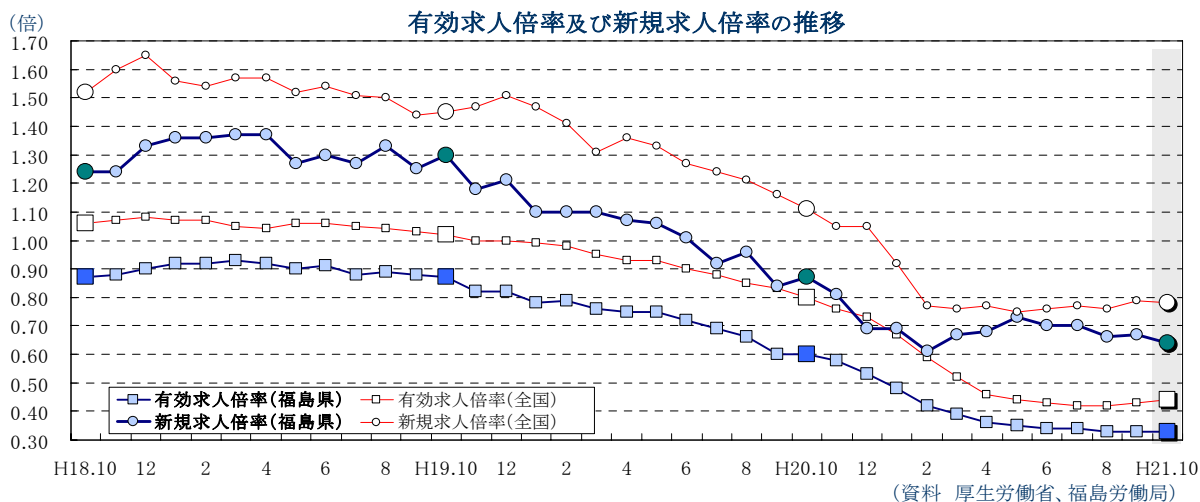
契約電力500kWh以上の大口の電力需要。産業の生産活動における生産要素の一つであるエネルギー面の投入量を示す指標です。主要産業の経済活動を敏感に反映し、速報性があります。

(4) 雇用・労働

◆ 新規求人倍率(10月)は0.64倍(季節調整値)、前月より0.03ポイント低下した。

◆ 有効求人倍率(10月)は0.33倍(季節調整値)、前月と同率であった。

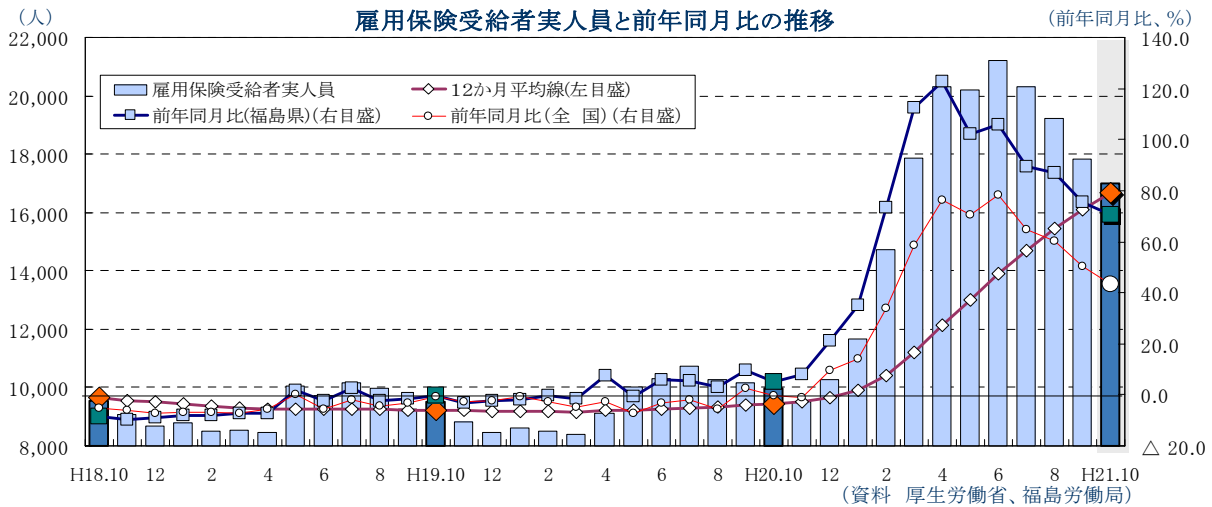
なお、有効求人数は18,253人(対前年同月比27.5%減)となり、平成19年11月以降、前年を下回る動きが続いている。一方、有効求職者数は50,277人(同33.6%増)となり、平成19年10月以降、前年を上回る動きが続いている。



【新規求人倍率と有効求人倍率】

「新規求人」とは、当月受け付けた求人を指し、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人を合わせたものを「有効求人」といいます。同様に、「新規求職」は当月受け付けた求職をいい、「有効求職」は前月から繰り越された求職と新規求職の合計です。有効求人倍率が低いと求職者の割には求人数が少なく雇用情勢が悪化しており、反対に倍率が高いと雇用情勢が良いことを示します。雇用情勢の最新の動きをみるには新規求人倍率をみます。なお、求人倍率は、求人数÷求職者数となりますが、通常公表されている求人倍率は季節調整値のため一致しません。

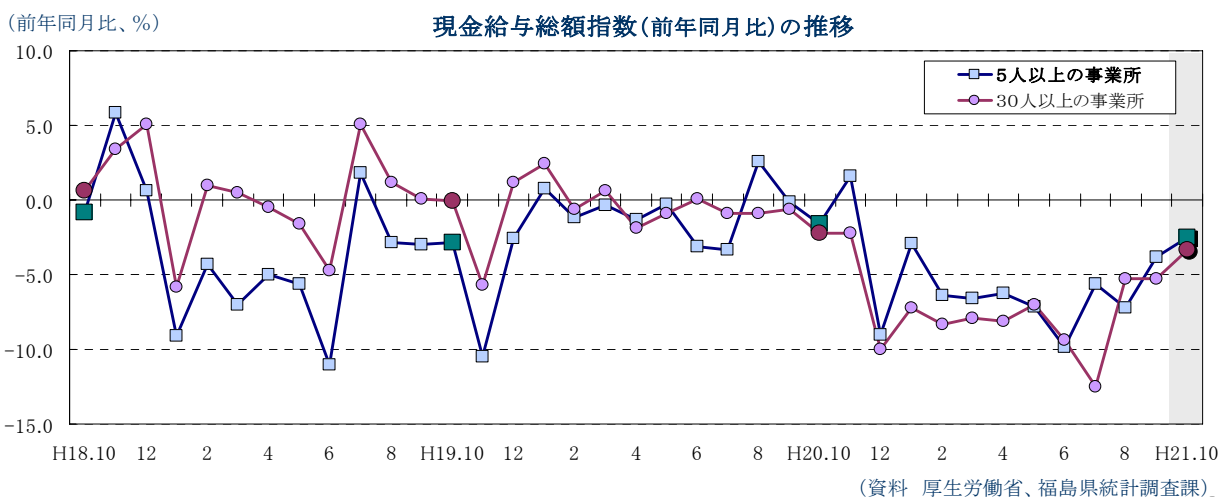
◆ 雇用保険受給者実人員(10月)は16,993人、対前年同月比70.4%増となり、17か月連続で前年を上回った。



【雇用保険受給者実人員】

雇用保険の被保険者が離職後、再就職先が見つからないために失業等給付を受け取っている人の数です。失業動向を示すもので、受給者の増加は雇用情勢の悪化を示します。景気の動きと逆に動きます。

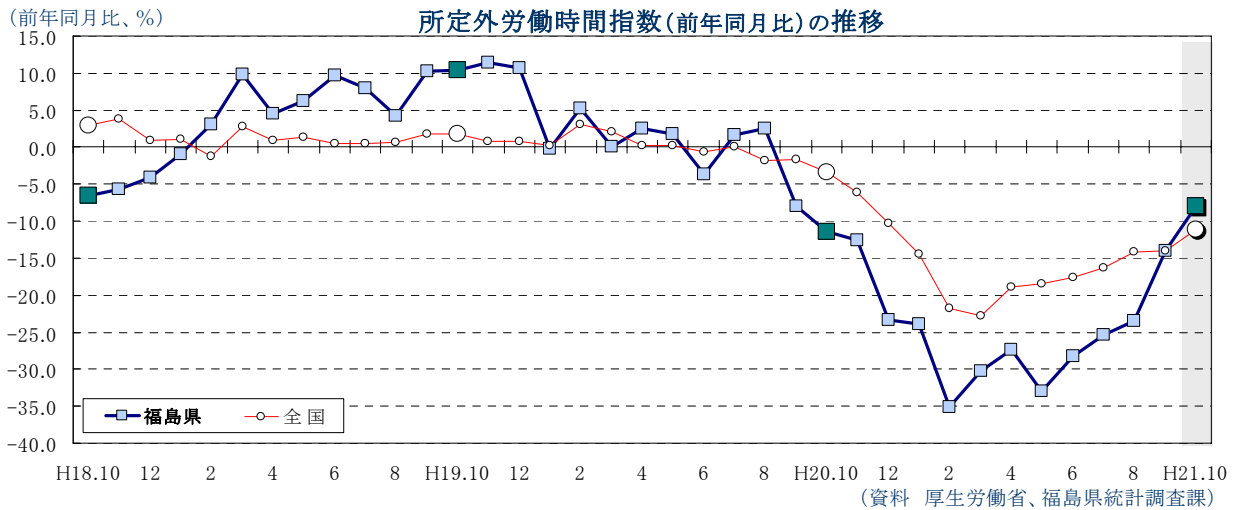
◆ 現金給与総額指数(名目)(10月)は78.6(事業所規模5人以上)、対前年同月比2.5%減となり、11か月連続で前年を下回っている。なお、事業所規模30人以上は78.0、対前年同月比3.3%減となり、17か月連続で前年を下回っている。



【現金給与総額指数】

現金給与総額とは、賃金、給与、手当、賞与など労働の対価として使用者が労働者に支払ったものをすべて合計したもので、所得税、社会保険料等を差し引く前の金額です。これを基準年を100として(現在は平成17年=100)指数化したものです。一般に、賞与のある6、7月や12月は指数が高くなる季節性があるため、前年同月比でみる必要があります。

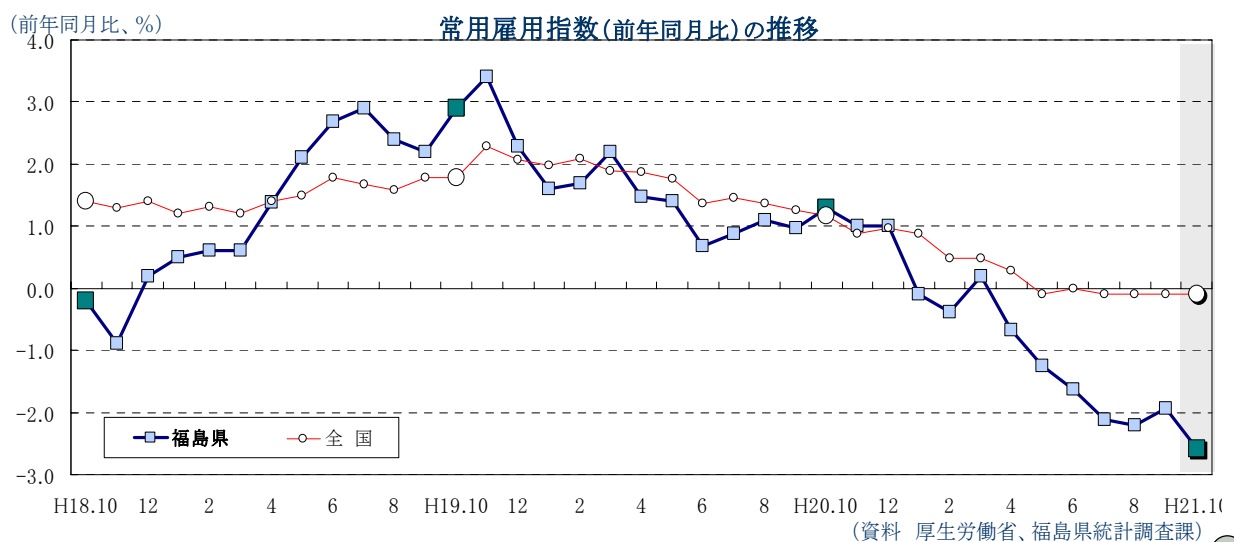
◆ 所定外労働時間指数(10月)は86.0、対前年同月比8.0%減となり、14か月連続で前年を下回っている。



【所定外労働時間指数】

所定外労働時間とは、残業や早出・休日出勤などのことです。これを基準年を100として(現在は平成17年=100)指数化したものです。景気が良くなると、生産活動が活発化し、残業時間の増加で対応することから、景気に敏感に反応します。

◆ 常用雇用指数(10月)は101.5、対前年同月比2.6%減となり、7か月連続で前年を下回っている。

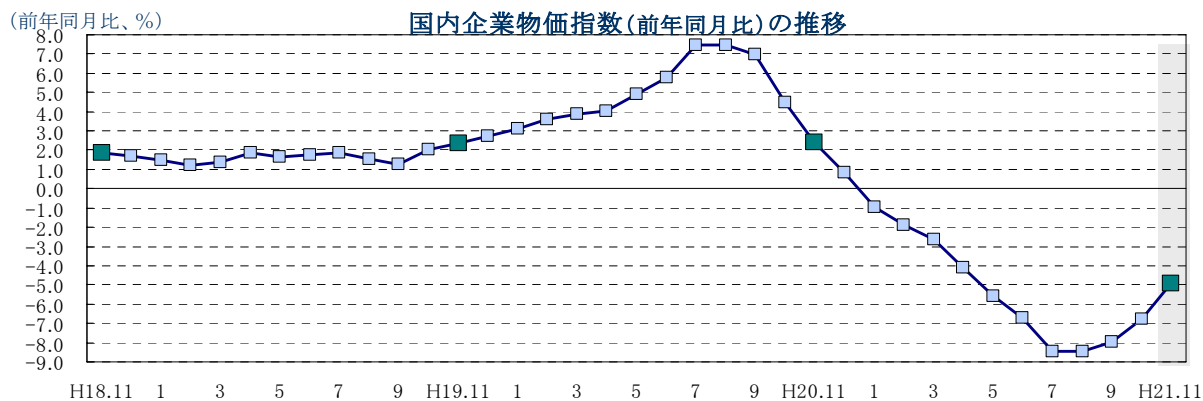


【常用雇用指数】

常用雇用者とは、事業所に雇われている人の数で、一般労働者のほかパートタイム労働者を含みます。これを基準年を100として(現在は平成17年=100)指数化したものです。求人や求職のような希望の数を表すものと違って、実際に雇われている雇用情勢の実態を表します。

(5) 物価

- ◆ 国内企業物価指数(11月)は102.2(速報値)、対前年同月比4.9%減となり、11か月連続で前年を下回っている。なお、前月比は0.1%増となり、4か月振りに上昇している。

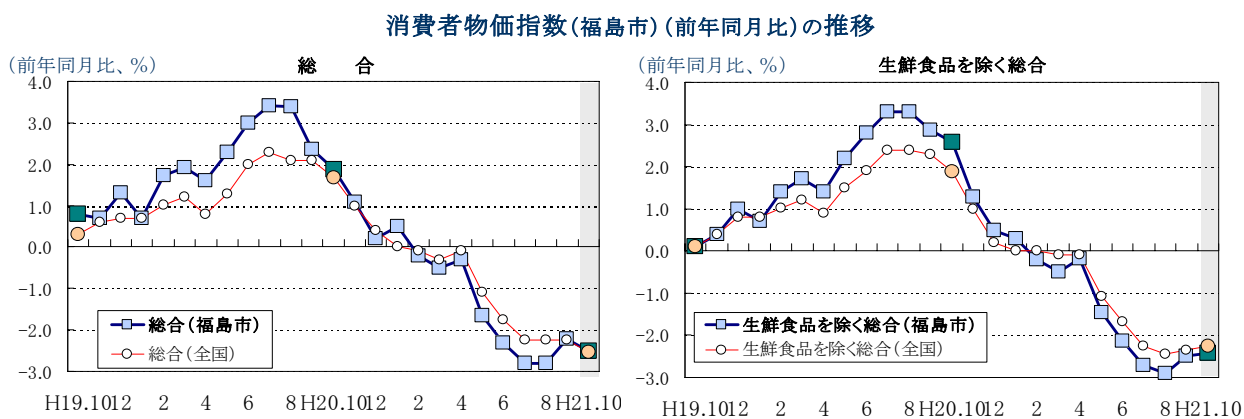


(資料 日本銀行)

【国内企業物価指数】

出荷や卸売り段階での企業間の取引価格の動きを示す指標で、景気動向に敏感に反応します。景気が過熱してモノの需給が引き締まると、企業物価は上昇します。逆に不況期には下落します。日本は原材料を多く輸入に依存しているため、海外市況や為替相場に左右されやすい側面もあります。

- ◆ 福島市消費者物価指数(10月)は100.7、対前年同月比2.5%減となり、9か月連続で前年を下回っている。また、生鮮食品を除く総合でみると101.0、対前年同月比2.4%減となっている。なお、対前月比は0.6%減となり、3か月振りに下落している。



(資料 総務省統計局)

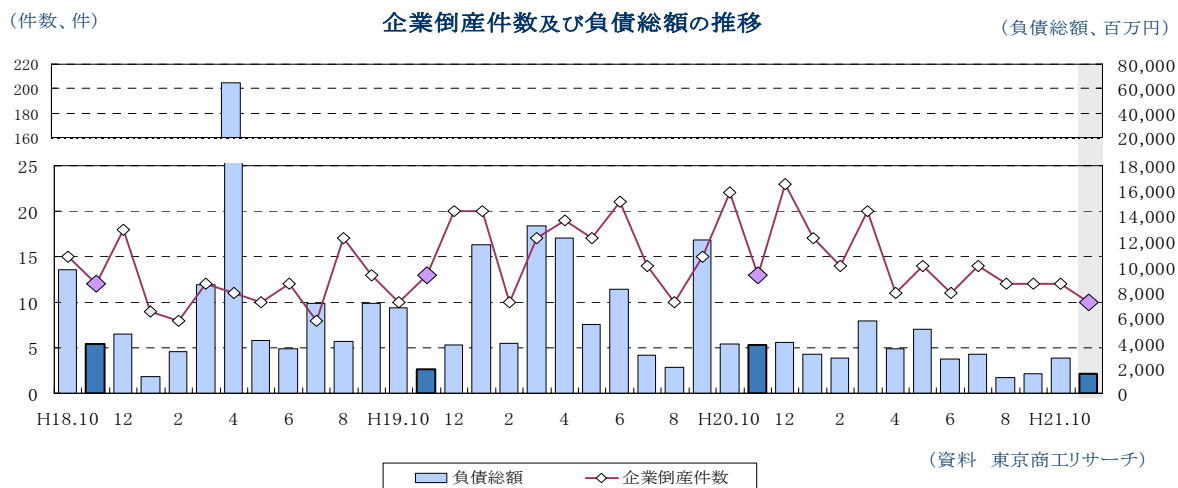
【消費者物価指数】

消費者が平均的に購入する商品やサービスを基準年を100と(現在は平成17年=100)固定して、物価がどのように変化しているかを指数化したものです。また、生鮮食品は天候などの要因によって価格が大幅に変動するため、他の商品やサービスの価格動向を見えにくくなるので「生鮮食品を除く総合」でみることもあります。また、税制や社会保障制度の変更や原油等のエネルギー価格の動向が影響を及ぼすことがあります。

(6) 企業・金融

- ◆ **企業倒産(11月)**は、件数が**10件**、対前年同月比**23.0%減**となり、**3か月連続**で前年を下回っている。また、負債総額は**15億5,100万円**、対前年同月比で**59.0%減**となり、**4か月連続**で前年を下回っている。

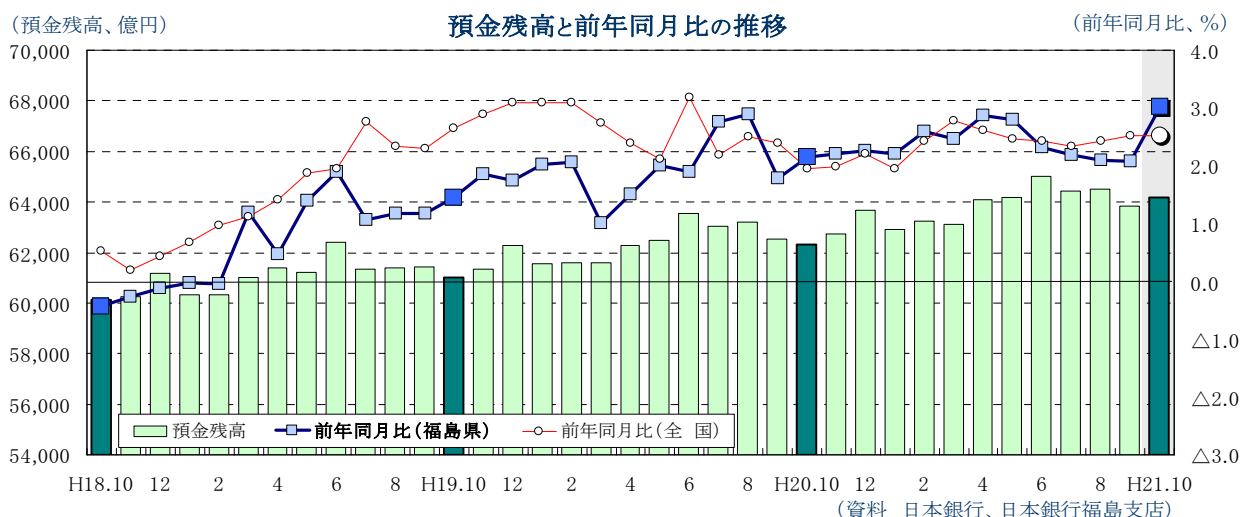
倒産件数を業種別にみると、建設業が5件と最多となっており、次いで小売業が3件となっている。



【企業倒産】

法的な定義はなく、官庁統計に集計したものではありません。民間信用調査機関ごとに定義を設けて集計しています。「法的整理(破産や会社更生手続、民事再生手続等)」と「任意整理(銀行取引停止処分、内整理)」の大きく2つに分けることができます。

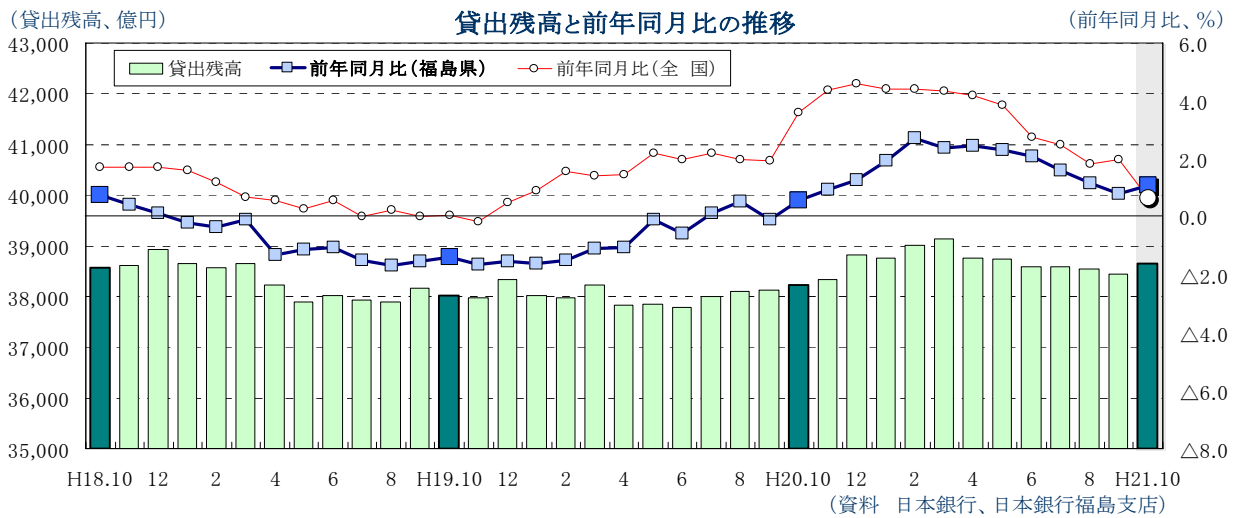
- ◆ **金融機関預金残高(10月)**は総額**6兆4,180億円**、対前年同月比**3.0%増**となり、平成19年3月以降、前年を上回る動きが続いている。



【預金残高】

預金残高の増減率は金融機関の信用力を示します。経営破綻が相次いで信用不安が起きれば、預金が出流します。具体的な近年の例としては、法人預金は売上げ低迷による余資の減少や、預貸相殺の動きが続くと減少し、個人預金は収入が落ち込むと減少します。増加する理由には逆のことがいえます。

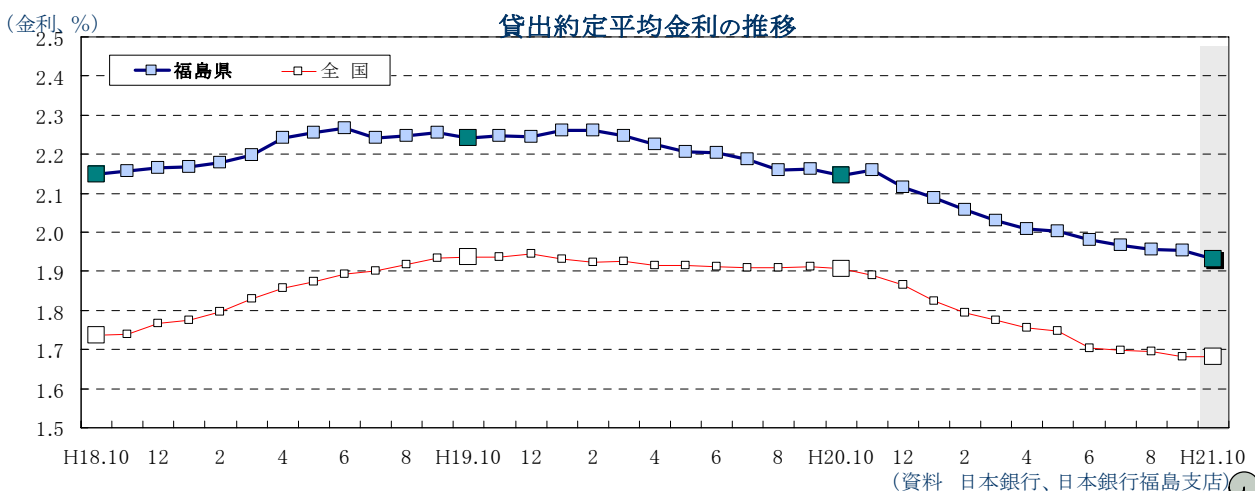
◆ 金融機関貸出残高(10月)は総額3兆8,650億円、対前年同月比1.1%増となり、13か月連続で前年を上回っている。



【貸出残高】

景気拡大期には企業が設備投資を増やし、資金需要が拡大するため貸出残高は増加します。また、銀行の貸出余力が増えれば貸出残高は増加します。具体的な近年の例としては、法人向けは企業が新規借入よりも債務の返済を優先させたり、金融機関が不良債権処理を優先させたりすると、貸出は減少します。個人向けは住宅ローン等が堅調だと増加します。

◆ 貸出約定平均金利(10月)は、1.932%、対前月差0.022ポイント低下し、11か月連続で前月を下回っている。

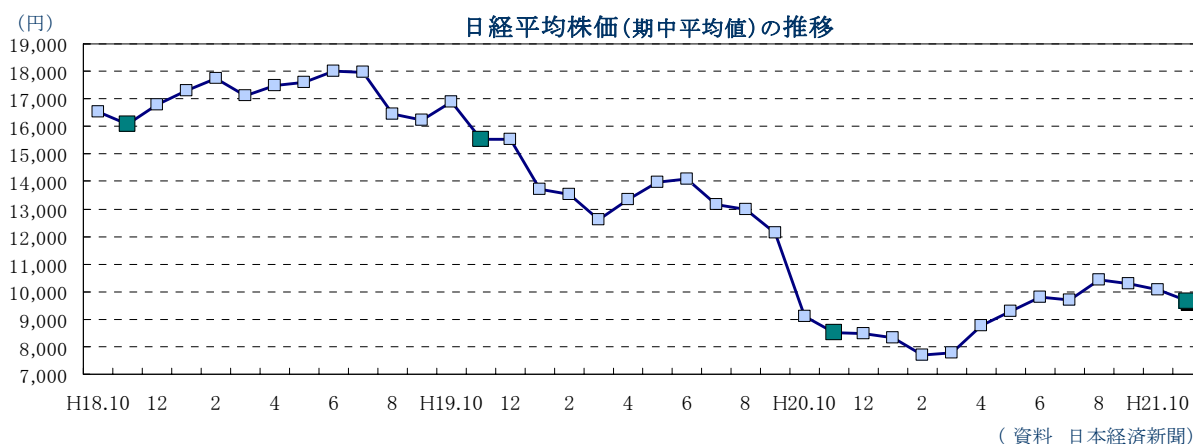


【貸出約定平均金利】

金融機関が過去に貸し出しを行った際の貸出金利を現在の貸出残高で加重平均したものです。銀行融資の金利が現実にはどのくらいになっているかを示す指標です。

(7) 市場

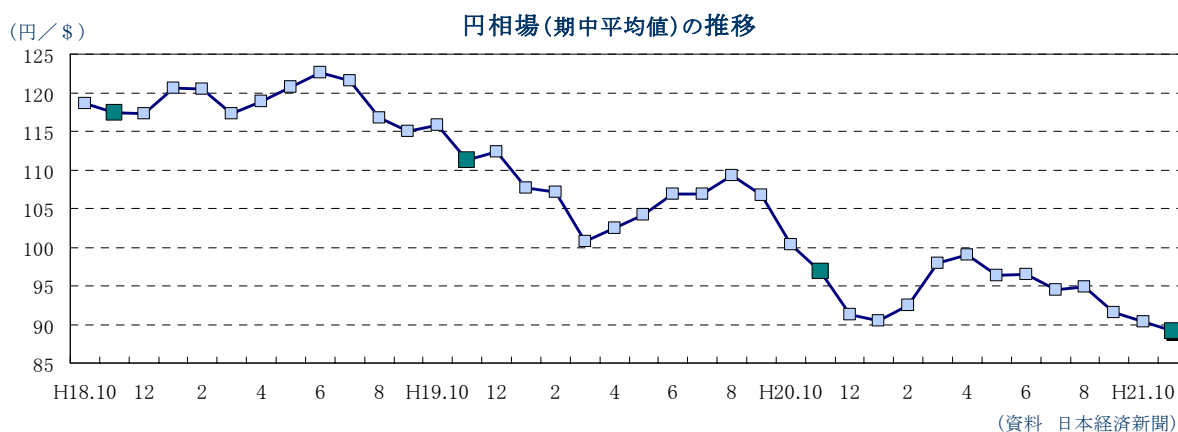
- ◆ 日経平均株価(11月)は9,640円99銭(期中平均値)、前月より425円25銭安となっており、3か月連続で前月を下回っている。



【日経平均株価】

日本経済新聞社が東京証券取引所第一部に上場している225銘柄(定期的に入れ替え)を対象に平均金額を算出したもので、株式市場全体の株価水準を示す代表的な指標です。株価が上昇すると、企業資産の含み益が増え、企業活動に好影響を与えます。また、株式取引に直接参加していない消費者や経営者にも心理的に大きな影響を与えるため、景気の先行指標といわれます。

- ◆ 円相場(11月)は89円19銭(期中平均値)、前月より1円10銭の円高となっている。



【円相場】

円とドルの交換比率(対ドルの為替レート)です。為替レートは商品の値段を決めるときと同様に需給バランスで決まります。その通貨を必要とする人が増えれば値上がりしますし、減れば値下がります。為替レートの変動は、外国貿易を行っている企業に直接的な影響を及ぼし、「円高」では輸出業者が損をして輸入業者が得をします。「円安」の場合は逆になります。また、円高になると輸入品価格が低下し、物価下落の要因となり、一方、輸出価格が上昇し、国際競争力を低下させます。円相場が日本経済全体に与える影響はとて大きいいため、政府・日銀が介入する場合があります。

3 主要経済指標

区分	個人消費				建設需要					
	1 大型小売店販売額				2 乗用車新規登録台数		3 新設住宅着工戸数		4 公共工事請負金額	
年月	福島県	福島県	全国	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	全店舗	既存店	全店舗	既存店	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(百万円)	(百万円)	(億円)	(億円)	(台)	(千台)	(戸)	(戸)	(百万円)	(億円)
H18年	230,540	-	211,450	-	74,697	4,642	13,076	1,289,832	204,292	122,838
19	230,215	-	211,988	-	70,420	4,400	11,721	1,060,741	194,217	117,818
20	232,395	-	209,511	-	68,798	4,228	11,853	1,093,485	199,653	117,951
20年Ⅲ	56,644	-	50,775	-	16,216	1,036	3,188	291,301	70,027	33,180
Ⅳ	61,691	-	56,078	-	14,179	863	3,149	258,597	51,233	27,990
21年Ⅰ	56,638	-	49,101	-	17,069	1,044	2,275	199,619	32,136	28,338
Ⅱ	55,690	-	48,174	-	13,036	800	2,435	197,271	48,580	32,131
Ⅲ	55,067	-	47,991	-	16,109	1,050	2,418	186,904	72,345	36,888
7	19,512	-	18,661	-	5,842	383	1,034	97,212	24,155	12,202
8	19,670	-	16,531	-	3,972	255	692	96,905	24,773	9,253
9	17,462	-	15,591	-	6,402	397	1,462	97,184	21,099	11,724
20年10月	18,569	-	16,668	-	5,162	315	1,048	92,123	18,016	11,697
11	19,252	-	17,805	-	5,016	296	946	84,277	14,908	8,443
12	23,871	-	21,577	-	4,001	253	1,155	82,197	18,309	7,850
1	20,329	-	18,069	-	4,494	256	733	70,688	9,032	6,019
2	16,899	-	14,518	-	5,056	325	783	62,303	4,755	6,349
3	19,410	-	16,514	-	7,519	463	759	66,628	18,349	15,969
4	18,490	-	15,960	-	3,952	236	744	66,198	15,631	13,288
5	19,364	-	16,185	-	3,884	245	770	62,805	9,411	7,866
6	17,837	-	16,029	-	5,200	319	921	68,268	23,538	10,977
7	18,567	-	17,360	-	5,479	372	872	65,974	26,572	12,511
8	19,200	-	15,696	-	4,067	264	804	59,749	14,397	10,063
9	17,299	-	14,935	-	6,563	414	742	61,181	31,376	14,314
21年10月	17,905	-	15,611	-	5,764	340	835	67,120	21,558	12,665
11	-	-	-	-	6,265	369	-	-	15,555	8,441

対前年同月(期)比(%)																				
H18年	1.8	△	2.6	△	0.9	△	1.2	△	1.8	△	2.2	△	1.7	△	4.3	△	13.6	△	5.2	
19	△	0.1	△	1.1	△	0.3	△	1.0	△	5.7	△	5.2	△	10.4	△	17.8	△	4.9	△	4.1
20	0.9	△	1.1	△	1.2	△	2.5	△	2.3	△	3.9	△	1.1	△	3.1	△	2.8	△	0.1	
20年Ⅲ	0.4	△	1.4	△	0.9	△	2.0	△	0.0	△	1.5	△	17.2	△	40.2	△	17.6	△	4.7	
Ⅳ	1.5	△	0.4	△	3.2	△	4.6	△	11.4	△	14.2	△	8.6	△	4.1	△	21.7	△	2.8	
21年Ⅰ	△	1.7	△	3.4	△	5.6	△	7.2	△	25.5	△	23.4	△	18.6	△	21.4	△	13.3	△	7.8
Ⅱ	△	1.3	△	3.0	△	4.9	△	6.7	△	15.8	△	17.2	△	10.5	△	31.9	△	0.8	△	13.0
Ⅲ	△	2.8	△	5.4	△	5.5	△	7.0	△	0.7	△	1.4	△	24.2	△	35.8	△	3.3	△	11.2
7	2.2	△	0.1	△	0.3	△	0.7	△	12.6	△	7.1	△	7.7	△	19.0	△	8.0	△	13.8	
8	△	0.5	△	2.6	△	1.0	△	2.2	△	4.2	△	8.0	△	20.3	△	53.6	△	38.8	△	6.0
9	△	0.5	△	1.4	△	2.1	△	3.3	△	6.9	△	4.5	△	63.9	△	54.2	△	9.1	△	5.5
20年10月	0.6	△	1.5	△	2.9	△	4.3	△	3.2	△	6.3	△	10.7	△	19.8	△	0.9	△	0.4	
11	4.9	△	2.9	△	1.7	△	3.1	△	18.3	△	18.9	△	17.8	△	0.0	△	34.6	△	2.8	
12	△	0.4	△	2.1	△	4.8	△	6.2	△	11.7	△	17.3	△	14.2	△	5.8	△	39.3	△	6.4
1	△	0.5	△	2.7	△	3.8	△	5.5	△	18.4	△	20.0	△	26.7	△	18.7	△	51.2	△	1.9
2	△	2.3	△	3.7	△	6.5	△	8.1	△	27.2	△	24.4	△	14.2	△	24.9	△	30.9	△	2.8
3	△	2.4	△	3.7	△	6.7	△	8.2	△	28.1	△	24.5	△	13.9	△	20.7	△	18.3	△	15.3
4	△	1.8	△	3.8	△	5.0	△	6.7	△	22.3	△	22.8	△	9.8	△	32.4	△	24.2	△	20.5
5	1.1	△	0.4	△	4.5	△	6.5	△	16.3	△	17.4	△	14.1	△	30.8	△	4.9	△	2.5	
6	△	3.4	△	5.1	△	5.2	△	6.8	△	9.8	△	12.2	△	7.9	△	32.4	△	33.1	△	12.7
7	△	4.8	△	5.7	△	7.0	△	8.4	△	6.2	△	2.8	△	15.7	△	32.1	△	10.0	△	2.5
8	△	2.4	△	5.5	△	5.0	△	6.8	△	2.4	△	3.2	△	16.2	△	38.3	△	41.9	△	8.7
9	△	0.9	△	5.0	△	4.2	△	5.6	△	2.5	△	4.2	△	49.2	△	37.0	△	48.7	△	22.1
21年10月	△	3.6	△	7.1	△	6.3	△	7.2	△	11.7	△	7.8	△	20.3	△	27.1	△	19.7	△	8.3
11	-	-	-	-	-	-	-	-	24.9	△	24.7	-	-	-	-	-	-	4.3	△	0.0

備考	百貨店とスーパーの計				乗用車、軽自動車の計		持家、貸家、給与住宅、分譲		年表示は、年度ベース	
資料	「商業動態統計調査」				「新車登録台数実績表」		住宅の計		国の機関と地方の機関の計	
出所	経済産業省、東北経済産業局				自動車販売店協会 軽自動車協会		「月刊住宅着工統計」 国土交通省		「公共工事前払金保証統計」 東日本建設保証株式会社	

区分	建設需要		生産活動											
	5業務用建築物着工棟数		6 鉱工業生産指数				7 鉱工業出荷指数				8 鉱工業在庫指数			
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
			原指数	原指数	季調値	季調値	原指数	原指数	季調値	季調値	原指数	原指数	季調値	季調値
	(棟)	(棟)												
H18年	2,676	114,861	102.3	104.5	-	-	103.6	104.6	-	-	100.8	102.1	-	-
19	2,208	98,076	105.8	107.4	-	-	109.4	107.8	-	-	105.0	103.9	-	-
20	2,140	92,870	102.3	103.8	-	-	108.5	104.3	-	-	118.5	106.7	-	-
20年Ⅲ	592	24,660	104.1	105.4	102.4	104.6	111.6	105.9	108.9	105.1	118.2	106.1	118.8	106.7
Ⅳ	591	23,157	95.2	95.8	92.0	92.8	99.8	95.6	97.4	93.5	128.8	110.7	130.3	109.4
21年Ⅰ	440	18,850	70.9	71.4	72.5	72.3	73.8	73.9	75.7	73.9	129.4	104.2	125.9	103.8
Ⅱ	378	18,426	73.7	75.8	75.9	78.3	79.9	75.7	82.1	78.6	105.8	95.2	107.0	96.3
Ⅲ	414	19,847	83.2	84.2	82.1	84.1	89.6	85.5	87.7	85.2	106.2	94.4	106.7	94.9
7	213	8,095	111.4	110.6	105.1	106.8	114.9	110.4	110.2	107.4	120.5	107.1	117.6	106.3
8	147	8,450	94.1	95.5	101.6	103.5	105.4	96.0	109.8	103.9	117.0	106.5	118.7	106.1
9	232	8,115	106.9	110.0	100.6	103.6	114.4	111.3	106.8	104.0	117.1	104.8	120.0	107.7
20年10月	207	7,950	105.4	105.9	97.6	100.1	107.8	103.7	103.1	100.9	128.8	110.1	129.6	108.9
11	216	7,789	95.2	94.4	93.8	93.1	100.8	93.4	100.5	93.6	128.4	113.1	130.0	109.5
12	168	7,418	84.9	87.0	84.6	85.3	90.7	89.6	88.7	86.0	129.1	109.0	131.4	109.7
1	137	6,554	67.5	70.2	75.2	76.7	67.0	69.8	77.0	76.7	135.1	110.7	131.5	108.0
2	141	6,423	65.7	67.2	68.0	69.5	68.9	69.4	71.5	72.0	133.2	106.7	128.7	103.5
3	162	5,873	79.5	76.7	74.3	70.6	85.6	82.6	78.6	73.1	120.0	95.3	117.4	99.8
4	112	5,924	70.8	72.2	72.3	74.8	78.3	72.0	79.7	75.3	106.5	94.4	106.7	97.1
5	86	5,558	68.7	72.0	76.1	79.1	73.7	71.1	82.0	78.9	106.3	96.1	107.6	96.4
6	180	6,944	81.5	83.2	79.2	80.9	87.8	84.0	84.7	81.7	104.6	95.2	106.8	95.3
7	155	7,298	87.0	85.5	82.0	82.6	91.9	86.1	88.1	83.7	107.6	95.7	105.0	95.0
8	120	6,251	74.6	77.4	80.6	83.9	81.8	77.8	85.2	84.2	106.6	95.5	108.1	95.1
9	139	6,298	88.1	89.8	83.8	85.7	95.0	92.6	89.8	87.7	104.3	92.1	106.9	94.7
21年10月	152	6,788	90.6	89.9	85.2	86.1	94.8	90.2	92.1	88.8	103.0	94.3	103.7	93.3
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	対前年同月(期)比(%)				対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)				対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)		対前月(期)比	
	△		△		△		△		△		△		△		△	
H18年	3.0	0.6	2.3	4.5	-	-	3.6	4.6	-	-	0.8	2.1	-	-	-	-
19	17.5	14.6	3.4	2.8	-	-	5.6	3.1	-	-	4.2	1.8	-	-	-	-
20	3.1	5.3	3.3	3.4	-	-	0.8	3.2	-	-	12.9	2.7	-	-	-	-
20年Ⅲ	21.3	8.9	2.1	1.4	4.3	3.2	0.1	1.5	4.6	3.0	11.1	2.3	4.9	1.2		
Ⅳ	8.4	1.0	14.6	14.5	10.2	11.3	14.0	14.9	10.6	11.0	22.7	4.4	9.7	2.5		
21年Ⅰ	12.9	13.8	33.0	34.6	21.2	22.1	33.6	33.5	22.3	21.0	12.4	1.3	3.4	5.1		
Ⅱ	16.4	20.5	29.2	27.8	4.7	8.3	28.2	27.6	8.5	6.4	5.5	8.6	15.0	7.2		
Ⅲ	30.1	19.5	20.1	20.1	8.2	7.4	19.7	19.3	6.8	8.4	10.2	11.0	0.3	1.5		
7	2.3	3.0	1.7	2.3	1.2	0.3	1.5	3.0	2.3	0.5	11.9	2.1	4.1	0.1		
8	8.1	45.7	6.8	7.2	3.3	3.1	1.9	7.1	0.4	3.3	11.6	1.7	0.9	0.2		
9	73.1	36.1	1.4	0.4	1.0	0.1	0.5	0.5	2.7	0.1	9.8	3.1	1.1	1.5		
20年10月	13.7	14.5	9.1	6.6	3.0	3.4	8.3	7.1	3.5	3.0	22.9	4.4	8.0	1.1		
11	30.9	3.3	16.2	16.5	3.9	7.0	14.2	17.0	2.5	7.2	23.3	4.3	0.3	0.6		
12	15.2	6.6	19.1	20.7	9.8	8.4	19.6	20.7	11.7	8.1	21.7	4.8	1.1	0.2		
1	12.7	8.9	31.7	30.9	11.1	10.1	34.2	31.6	13.2	10.8	18.6	2.8	0.1	1.5		
2	23.4	14.9	37.5	38.4	9.6	9.4	37.6	36.7	7.1	6.1	16.8	1.7	2.1	4.2		
3	1.2	17.7	30.0	34.2	9.3	1.6	29.4	32.4	9.9	1.5	2.2	5.2	8.8	3.6		
4	26.3	20.5	32.4	30.7	2.7	5.9	29.3	30.7	1.4	3.0	8.4	7.2	9.1	2.7		
5	30.1	25.6	31.1	29.5	5.3	5.7	31.8	30.0	2.9	4.8	2.2	8.4	0.8	0.7		
6	1.7	15.9	24.4	23.5	4.1	2.3	23.8	22.6	3.3	3.5	5.5	10.3	0.7	1.1		
7	27.2	9.8	21.9	22.7	3.5	2.1	20.0	22.0	4.0	2.4	10.7	10.6	1.7	0.3		
8	18.4	26.0	20.7	19.0	1.7	1.6	22.4	19.0	3.3	0.6	8.9	10.3	3.0	0.1		
9	40.1	22.4	17.6	18.4	4.0	2.1	17.0	16.8	5.4	4.2	10.9	12.1	1.1	0.4		
21年10月	26.6	14.6	14.0	15.1	1.7	0.5	12.1	13.0	2.6	1.3	20.0	14.4	3.0	1.5		
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
備考	全建築物から居住専用住宅、居住産業併用住宅を除いたもの		平成17年=100				平成17年=100				平成17年=100					
資料	「建築統計月報」		「鉱工業指数月報」福島県													
出所	国土交通省		経済産業省													

区分	生産活動		雇用・労働							
	9 大口電力使用量		10 新規求人倍率		11 有効求人倍率		12 有効求人数		13 有効求職者数	
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(千kWh)	(百万kWh)	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)	(人)	(千人)	(人)	(千人)
H18年	6,279,060	283,663	1.28	1.57	0.89	1.06	31,063	2,295	34,924	2,164
19	6,702,016	296,027	1.30	1.52	0.89	1.04	30,607	2,180	34,445	2,094
20	7,064,775	298,666	0.96	1.25	0.68	0.88	25,123	1,832	36,828	2,091
20年Ⅲ	1,876,650	79,356	0.91	1.20	0.65	0.85	24,525	1,772	37,573	2,080
Ⅳ	1,655,779	70,570	0.79	1.07	0.57	0.76	23,133	1,681	37,461	2,101
21年Ⅰ	1,287,467	56,545	0.66	0.82	0.43	0.59	20,720	1,513	47,412	2,508
Ⅱ	1,432,469	60,905	0.70	0.76	0.35	0.44	17,142	1,241	54,844	2,986
Ⅲ	1,542,746	67,672	0.68	0.77	0.33	0.42	17,281	1,221	51,703	2,872
7	657,869	27,511	0.92	1.24	0.69	0.88	24,621	1,783	38,360	2,114
8	595,959	25,730	0.96	1.21	0.66	0.85	24,122	1,740	36,747	2,045
9	622,822	26,115	0.84	1.16	0.60	0.83	24,831	1,794	37,611	2,083
20年10月	596,385	25,581	0.87	1.11	0.60	0.80	25,172	1,796	37,621	2,142
11	558,103	23,437	0.81	1.05	0.58	0.76	23,072	1,676	36,786	2,080
12	501,291	21,552	0.69	1.05	0.53	0.73	21,156	1,570	37,976	2,080
1	454,429	19,471	0.69	0.92	0.48	0.67	21,107	1,549	43,548	2,307
2	409,551	18,038	0.61	0.77	0.42	0.59	20,573	1,511	47,013	2,486
3	423,487	19,036	0.67	0.76	0.39	0.52	20,481	1,478	51,674	2,732
4	457,826	19,359	0.68	0.77	0.36	0.46	18,262	1,334	55,461	3,000
5	470,692	19,980	0.73	0.75	0.35	0.44	16,787	1,192	54,390	2,970
6	503,951	21,566	0.70	0.76	0.34	0.43	16,376	1,198	54,680	2,987
7	529,203	23,037	0.70	0.77	0.34	0.42	17,134	1,199	53,657	2,947
8	488,791	22,097	0.66	0.76	0.33	0.42	16,715	1,198	51,222	2,859
9	524,752	22,538	0.67	0.79	0.33	0.43	17,995	1,267	50,229	2,809
21年10月	535,796	22,727	0.64	0.78	0.33	0.44	18,253	1,308	50,277	2,806
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	対前年同月(期)比(%)		対前月(期)(ポイント)				対前年同月(期)比(%)			
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
H18年	8.0	4.4	0.07	0.11	0.09	0.11	4.5	6.1	△ 5.8	△ 4.7
19	6.7	4.4	0.02	0.05	0.00	0.02	△ 1.5	△ 5.0	△ 1.4	△ 3.2
20	5.4	0.9	△ 0.34	△ 0.27	△ 0.21	△ 0.16	△ 17.9	△ 16.0	△ 6.9	△ 0.1
20年Ⅲ	8.3	2.3	△ 0.14	△ 0.12	△ 0.09	△ 0.07	△ 19.5	△ 17.1	△ 8.6	△ 0.6
Ⅳ	△ 4.6	△ 6.2	△ 0.12	△ 0.13	△ 0.08	△ 0.09	△ 22.5	△ 19.6	△ 13.9	△ 6.3
21年Ⅰ	△ 26.4	△ 23.2	△ 0.13	△ 0.25	△ 0.14	△ 0.17	△ 24.2	△ 24.8	△ 38.7	△ 25.0
Ⅱ	△ 19.6	△ 18.9	△ 0.04	△ 0.06	△ 0.08	△ 0.15	△ 32.7	△ 33.3	△ 44.0	△ 37.0
Ⅲ	△ 17.8	△ 14.7	△ 0.02	△ 0.01	△ 0.02	△ 0.02	△ 29.5	△ 31.1	△ 37.6	△ 38.0
7	11.6	6.5	△ 0.09	△ 0.03	△ 0.03	△ 0.02	△ 15.2	△ 15.9	△ 8.3	△ 0.1
8	5.7	△ 0.0	△ 0.04	△ 0.03	△ 0.03	△ 0.03	△ 20.7	△ 18.8	△ 6.5	△ 0.9
9	7.5	0.6	△ 0.12	△ 0.05	△ 0.06	△ 0.02	△ 22.4	△ 16.7	△ 10.9	△ 2.9
20年10月	2.9	△ 0.5	△ 0.03	△ 0.05	△ 0.00	△ 0.03	△ 24.0	△ 18.8	△ 9.6	△ 3.3
11	△ 2.3	△ 5.2	△ 0.06	△ 0.06	△ 0.02	△ 0.04	△ 22.5	△ 20.7	△ 10.6	△ 4.8
12	△ 14.3	△ 13.0	△ 0.12	△ 0.00	△ 0.05	△ 0.03	△ 20.5	△ 19.3	△ 22.1	△ 11.2
1	△ 21.0	△ 18.7	△ 0.00	△ 0.13	△ 0.05	△ 0.06	△ 18.7	△ 20.8	△ 33.8	△ 18.4
2	△ 30.1	△ 26.4	△ 0.08	△ 0.15	△ 0.06	△ 0.08	△ 25.4	△ 25.5	△ 39.9	△ 24.5
3	△ 28.1	△ 24.4	△ 0.06	△ 0.01	△ 0.03	△ 0.07	△ 28.2	△ 27.9	△ 41.9	△ 31.8
4	△ 22.8	△ 20.5	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.03	△ 0.06	△ 32.3	△ 31.8	△ 43.9	△ 36.1
5	△ 19.1	△ 19.4	△ 0.05	△ 0.02	△ 0.01	△ 0.02	△ 33.4	△ 35.2	△ 43.6	△ 35.8
6	△ 17.0	△ 17.0	△ 0.03	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.01	△ 32.6	△ 33.1	△ 44.5	△ 39.2
7	△ 19.6	△ 16.3	△ 0.00	△ 0.01	△ 0.00	△ 0.01	△ 30.4	△ 32.8	△ 39.9	△ 39.4
8	△ 18.0	△ 14.1	△ 0.04	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.00	△ 30.7	△ 31.1	△ 39.4	△ 39.8
9	△ 15.7	△ 13.7	△ 0.01	△ 0.03	△ 0.00	△ 0.01	△ 27.5	△ 29.4	△ 33.5	△ 34.9
21年10月	△ 10.2	△ 11.2	△ 0.03	△ 0.01	△ 0.00	△ 0.01	△ 27.5	△ 27.2	△ 33.6	△ 31.0
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	県は東北電力、国は電力10社計 四半期値は、月平均値		学卒を除きパートを含む。 新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月の値は季節調整値 四半期値は各期ごとの平均							
資料	東北電力株式会社福島支店		「雇用失業情勢」							
出所	電気事業連合会		福島労働局職業安定部							

区分	雇用・労働										物価
	14 雇用保険受給者実人員		15 現金給与総額 指数(名目)		16 所定外労働時間指数		17 常用雇用指数		18 パートタイム 労働者比率		19 国内企業 物価指数
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	全国
	(人)	(千人)							(%)	(%)	
H18年	9,494	593	101.7	100.2	95.6	102.6	100.3	101.0	16.0	25.5	102.2
19	9,196	570	96.4	99.5	102.5	103.4	102.3	102.8	19.4	26.1	104.0
20	9,658	561	94.5	99.9	98.3	100.6	103.6	104.3	19.4	26.1	108.8
20年 III	10,386	605	91.0	94.2	98.5	100.5	103.9	104.2	18.7	26.2	112.2
IV	9,921	580	106.0	114.9	91.2	100.2	104.3	104.2	19.2	26.4	107.8
21年 I	14,747	701	78.0	81.7	71.3	84.6	102.2	103.3	23.9	27.2	104.3
II	20,585	945	90.5	97.6	71.6	84.3	102.6	104.0	24.2	27.0	102.9
III	19,112	958	85.9	90.8	77.8	85.5	101.8	104.1	23.2	27.4	102.9
7	10,724	608	105.3	116.0	101.1	102.6	104.1	104.3	18.7	26.1	112.4
8	10,276	601	87.2	85.0	98.5	97.9	104.0	104.1	18.2	26.1	112.4
9	10,157	606	80.5	81.6	96.0	101.0	103.7	104.1	19.1	26.3	111.8
20年10月	9,971	597	80.6	82.2	93.5	102.0	104.2	104.1	19.0	26.3	109.5
11	9,529	557	84.1	86.0	95.5	101.1	104.3	104.2	19.3	26.4	107.5
12	10,264	586	153.3	176.5	84.7	97.4	104.3	104.3	19.4	26.5	106.3
1	11,657	619	79.9	82.3	71.9	85.8	102.2	103.8	22.9	27.2	104.7
2	14,718	693	76.1	80.3	68.4	83.0	101.8	103.3	24.2	26.9	104.2
3	17,866	792	78.0	82.4	73.7	84.9	102.5	102.8	24.5	27.4	103.9
4	20,322	882	77.9	82.0	76.3	87.7	102.9	104.0	24.2	26.9	103.3
5	20,216	940	74.9	80.9	67.5	82.1	102.7	103.9	24.2	27.0	102.8
6	21,217	1,012	118.8	130.0	71.1	83.0	102.3	104.1	24.3	27.2	102.5
7	20,312	1,001	99.4	109.5	75.4	85.8	101.9	104.2	22.8	27.4	102.9
8	19,213	962	80.9	82.7	75.4	84.0	101.7	104.0	22.8	27.3	102.9
9	17,810	910	77.4	80.1	82.5	86.8	101.7	104.0	23.9	27.4	102.9
21年10月	16,993	855	78.6	80.6	86.0	90.6	101.5	104.0	23.6	27.5	102.1
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	P 102.2

	対前年同月(期)比(%)										対前月(期)(ポイント)		対前年同月(期)比(%)
H18年	△ 9.2	△ 6.8	△ 1.7	△ 0.3	△ 4.4	△ 2.6	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.1	△ 2.2		
19	△ 3.1	△ 3.9	△ 5.2	△ 0.7	△ 7.2	△ 0.8	△ 2.0	△ 1.8	△ 3.4	△ 0.6	△ 1.8		
20	△ 5.0	△ 1.6	△ 2.0	△ 0.3	△ 4.1	△ 2.7	△ 1.3	△ 1.5	△ 0.0	△ 0.0	△ 4.6		
20年 III	5.9	△ 1.7	△ 0.5	△ 0.4	△ 1.5	△ 1.1	△ 1.0	△ 1.4	△ 1.0	△ 0.4	△ 7.3		
IV	11.1	△ 2.5	△ 4.6	△ 1.2	△ 15.9	△ 6.6	△ 1.2	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.2	△ 2.6		
21年 I	73.3	34.9	△ 5.3	△ 3.0	△ 30.0	△ 19.7	△ 0.1	△ 0.6	△ 4.7	△ 0.8	△ 1.8		
II	109.7	74.9	△ 8.1	△ 4.7	△ 29.5	△ 18.2	△ 1.3	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.2	△ 5.4		
III	84.0	58.3	△ 5.6	△ 3.6	△ 21.0	△ 14.9	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.0	△ 0.4	△ 8.3		
7	5.4	△ 1.8	△ 3.3	△ 0.3	△ 1.6	△ 0.1	△ 0.9	△ 1.5	△ 1.5	△ 0.1	△ 7.5		
8	2.9	△ 5.7	△ 2.6	△ 0.6	△ 2.5	△ 1.8	△ 1.1	△ 1.4	△ 0.5	△ 0.0	△ 7.5		
9	9.6	△ 2.5	△ 0.1	△ 0.5	△ 8.0	△ 1.7	△ 1.0	△ 1.3	△ 0.9	△ 0.1	△ 7.0		
20年10月	5.0	△ 0.3	△ 1.6	△ 0.5	△ 11.4	△ 3.4	△ 1.3	△ 1.2	△ 0.1	△ 0.1	△ 4.5		
11	8.1	△ 1.2	△ 1.6	△ 1.3	△ 12.6	△ 6.0	△ 1.0	△ 0.9	△ 0.3	△ 0.1	△ 2.4		
12	21.0	△ 9.5	△ 9.0	△ 1.5	△ 23.3	△ 10.3	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.9		
1	35.1	14.2	△ 2.9	△ 2.7	△ 23.9	△ 14.4	△ 0.1	△ 0.9	△ 3.5	△ 0.7	△ 0.9		
2	73.3	33.8	△ 6.4	△ 2.4	△ 35.2	△ 21.7	△ 0.4	△ 0.5	△ 1.3	△ 0.3	△ 1.9		
3	112.5	58.7	△ 6.6	△ 3.9	△ 30.3	△ 22.7	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.6	△ 2.6		
4	122.5	76.4	△ 6.3	△ 2.7	△ 27.4	△ 18.9	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.6	△ 4.1		
5	102.2	70.3	△ 7.2	△ 2.5	△ 33.0	△ 18.4	△ 1.3	△ 0.1	△ 0.0	△ 0.1	△ 5.6		
6	105.7	78.2	△ 9.9	△ 7.0	△ 28.3	△ 17.6	△ 1.6	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 6.7		
7	89.4	64.6	△ 5.6	△ 5.6	△ 25.4	△ 16.4	△ 2.1	△ 0.1	△ 1.5	△ 0.2	△ 8.5		
8	87.0	60.1	△ 7.2	△ 2.7	△ 23.5	△ 14.2	△ 2.2	△ 0.1	△ 0.0	△ 0.1	△ 8.5		
9	75.3	50.2	△ 3.9	△ 1.8	△ 14.1	△ 14.1	△ 1.9	△ 0.1	△ 1.1	△ 0.1	△ 8.0		
21年10月	70.4	43.2	△ 2.5	△ 1.9	△ 8.0	△ 11.2	△ 2.6	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.1	△ 6.8		
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	P △ 4.9		
備考	四半期値は各期ごとの平均		全産業5人以上 平成17年=100				全産業5人以上 平成17年=100、平成16年の前年同期(月)比は、旧産業集計に				(国内総平均) 平成17年=100		
資料 出所			「毎月勤労統計調査結果速報」福島県 厚生労働省								「経済統計月報」 日本銀行		

区分	物価				企業・金融							
	20 消費者物価指数				21 企業倒産				22 金融機関預貸残高			
	福島市		全 国		福島県		全 国		福島県		全 国	
年月	総合	生鮮食品 を除く総合	総合	生鮮食品 を除く総合	件数	負債総額	件数	負債総額	金融機関 預金残高	金融機関 貸出残高	国内銀行 預金残高	国内銀行 貸出残高
					(件)	(百万円)	(件)	(億円)	(億円)	(億円)	(百億円)	(百億円)
H18年	100.2	100.3	100.3	100.1	146	72,880	13,245	55,006	61,185	38,930	52,867	41,558
19	100.4	100.4	100.3	100.1	143	116,677	14,091	57,279	62,256	38,325	54,504	41,764
20	102.4	102.4	101.7	101.6	201	83,773	15,646	122,920	63,665	38,818	55,706	43,685
20年 III	103.5	103.6	102.6	102.5	39	17,230	4,034	68,958	62,534	38,133	55,208	42,072
IV	102.3	102.6	101.9	101.7	58	11,692	4,068	22,164	63,665	38,818	55,706	43,685
21年 I	101.1	101.0	100.6	100.5	51	11,596	4,215	31,464	63,106	39,140	56,775	43,754
II	101.1	101.1	100.6	100.5	36	11,266	3,954	15,389	65,027	38,582	57,099	43,059
III	100.8	100.8	100.3	100.1	38	5,871	3,782	9,640	63,832	38,437	56,597	42,909
7	103.3	103.4	102.4	102.4	14	3,030	1,372	6,653	63,043	37,989	55,209	41,860
8	103.6	103.5	102.7	102.6	10	2,090	1,254	8,680	63,224	38,104	55,082	41,887
9	103.6	103.8	102.7	102.6	15	12,110	1,408	53,625	62,534	38,133	55,208	42,072
20年10月	103.3	103.5	102.6	102.4	22	3,899	1,429	10,077	62,298	38,237	54,813	42,381
11	102.2	102.5	101.7	101.6	13	3,786	1,277	5,761	62,750	38,335	55,450	42,841
12	101.5	101.9	101.3	101.1	23	4,007	1,362	6,327	63,665	38,818	55,706	43,685
1	101.4	101.1	100.7	100.5	17	3,115	1,360	8,390	62,925	38,759	55,496	43,374
2	100.8	100.8	100.4	100.4	14	2,764	1,318	12,292	63,233	39,015	55,907	43,456
3	101.0	101.0	100.7	100.7	20	5,717	1,537	10,782	63,106	39,140	56,775	43,754
4	101.2	101.2	100.8	100.7	11	3,499	1,329	5,219	64,080	38,753	56,771	43,378
5	101.1	101.1	100.6	100.5	14	5,033	1,203	5,399	64,193	38,727	56,597	43,309
6	100.9	101.0	100.4	100.3	11	2,734	1,422	4,771	65,027	38,582	57,099	43,059
7	100.4	100.6	100.1	100.1	14	3,108	1,386	3,710	64,421	38,596	56,503	42,910
8	100.7	100.5	100.4	100.1	12	1,256	1,241	2,842	64,517	38,541	56,426	42,651
9	101.3	101.2	100.4	100.2	12	1,507	1,155	3,088	63,832	38,437	56,597	42,909
21年10月	100.7	101	100.0	100.1	12	2,812	1,261	2,903	64,180	38,650	56,201	42,651
11	-	-	-	-	10	1,551	1,132	6,948	-	-	-	-

対前年同月(期)比(%)												
H18年	0.2	0.3	0.3	0.1	4.3	8.5	1.9	△ 17.9	△ 0.1	0.1	0.4	1.7
19	0.2	0.1	0.0	0.0	△ 2.1	60.1	6.4	4.1	1.8	△ 1.6	3.1	0.5
20	2.0	2.0	1.4	1.5	40.6	△ 28.2	11.0	114.6	2.3	1.3	2.2	4.6
20年 III	3.1	3.2	2.2	2.3	2.6	△ 6.4	16.4	310.3	1.8	△ 0.1	2.4	1.9
IV	1.0	1.4	1.1	1.0	34.9	△ 6.5	13.9	58.9	2.3	1.3	2.2	4.6
21年 I	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	8.5	△ 60.0	13.5	121.7	2.5	2.4	2.8	4.3
II	△ 1.4	△ 1.3	△ 1.0	△ 1.0	△ 36.8	△ 56.5	3.3	△ 12.6	2.3	2.1	2.4	2.8
III	△ 2.6	△ 2.7	△ 2.2	△ 2.3	△ 2.6	△ 65.9	△ 6.2	△ 86.0	2.1	0.8	-	-
7	3.4	3.3	2.3	2.4	75.0	△ 57.4	12.9	90.2	2.8	0.1	2.2	2.2
8	3.4	3.3	2.1	2.4	△ 41.2	△ 49.6	4.2	△ 0.2	2.9	0.5	2.5	2.0
9	2.4	2.9	2.1	2.3	15.4	69.5	34.4	1,064.2	1.8	△ 0.1	2.4	1.9
20年10月	1.9	2.6	1.7	1.9	120.0	△ 42.4	13.4	118.4	2.1	0.6	1.9	3.6
11	1.1	1.3	1.0	1.0	0.0	94.9	5.2	16.9	2.2	1.0	2.0	4.4
12	0.2	0.5	0.4	0.2	15.0	5.7	24.1	43.3	2.3	1.3	2.2	4.6
1	0.5	0.3	0.0	0.0	△ 15.0	△ 73.5	15.8	44.3	2.2	1.9	2.0	4.4
2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	0.0	40.0	△ 30.1	10.3	236.5	2.6	2.7	2.4	4.4
3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.1	17.6	△ 56.8	14.1	127.9	2.5	2.4	2.8	4.3
4	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.1	△ 42.1	△ 71.4	9.3	△ 27.3	2.9	2.4	2.6	4.2
5	△ 1.7	△ 1.5	△ 1.1	△ 1.1	△ 17.6	△ 7.2	△ 6.7	△ 1.8	2.8	2.3	2.5	3.8
6	△ 2.3	△ 2.1	△ 1.8	△ 1.7	△ 47.6	△ 66.6	7.4	△ 3.0	2.3	2.1	2.4	2.8
7	△ 2.8	△ 2.7	△ 2.2	△ 2.2	0.0	2.5	1.0	△ 44.2	2.2	1.6	2.3	2.5
8	△ 2.8	△ 2.9	△ 2.2	△ 2.4	20.0	△ 39.9	△ 1.0	△ 67.2	2.1	1.1	2.4	1.8
9	△ 2.2	△ 2.5	△ 2.2	△ 2.3	△ 20.0	△ 87.5	△ 17.9	△ 94.2	2.1	0.8	2.5	2.0
21年10月	△ 2.5	△ 2.4	△ 2.5	△ 2.2	△ 45.4	△ 27.8	△ 11.1	△ 71.1	3.0	1.1	2.5	0.6
11	-	-	-	-	△ 23.0	△ 59.0	△ 11.3	20.6	-	-	-	-
備考	平成17年=100				負債総額1,000万円以上				年・期・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀・信用金庫・信用組合の計 国の預金残高は実質預金			
資料	「消費者物価指数」総務省統計局				「福島県企業倒産状況」株式会社東京商工リサーチ 福島支店・郡山支店				「福島県金融経済概況」日本銀行福島支店 「金融経済統計月報」日本銀行			
出所	「消費者物価指数」総務省統計局				「全国企業倒産状況」株式会社東京商工リサーチ				「福島県金融経済概況」日本銀行福島支店 「金融経済統計月報」日本銀行			

区分	企業・金融		中小企業の業況							市場	
	23 貸出約定平均金利		24 中小企業業況判断DI							25 株式	26 円相場
	福島県	全国	福島県							株価	東京市場 米ドルスポット
地元地銀 3行	国内銀行	全産業	製造業	非製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	東証株式 (第1部)		
年月	(%)	(%)								(円)	(円/米ドル)
H18年	2.165	1.766	-	-	-	-	-	-	-	16,110.38	116.31
19	2.245	1.945	-	-	-	-	-	-	-	16,996.33	117.77
20	2.116	1.865	-	-	-	-	-	-	-	12,150.80	103.39
20年Ⅲ	2.163	1.913	-	-	-	-	-	-	-	12,777.19	107.61
Ⅳ	2.116	1.865	-	-	-	-	-	-	-	8,719.29	96.18
21年Ⅰ	2.029	1.776	-	-	-	-	-	-	-	7,924.67	93.74
Ⅱ	1.982	1.703	-	-	-	-	-	-	-	9,302.19	97.31
Ⅲ	1.954	1.680	-	-	-	-	-	-	-	10,128.98	93.69
7	2.187	1.910	-	-	-	-	-	-	-	13,168.91	106.81
8	2.158	1.908	-	-	-	-	-	-	-	12,989.35	109.28
9	2.163	1.913	△ 56.8	△ 51.1	△ 61.8	△ 68.7	△ 61.0	△ 63.9	△ 55.0	12,123.53	106.75
20年10月	2.145	1.906	-	-	-	-	-	-	-	9,117.03	100.33
11	2.160	1.889	-	-	-	-	-	-	-	8,531.45	96.81
12	2.116	1.865	△ 73.4	△ 79.4	△ 68.4	△ 64.4	△ 62.5	△ 72.7	△ 70.5	8,463.62	91.28
1	2.087	1.824	-	-	-	-	-	-	-	8,331.49	90.41
2	2.059	1.795	-	-	-	-	-	-	-	7,694.78	92.50
3	2.029	1.776	△ 70.6	△ 78.5	△ 63.8	△ 57.1	△ 71.9	△ 57.9	△ 68.2	7,764.58	97.87
4	2.007	1.756	-	-	-	-	-	-	-	8,767.96	99.00
5	2.004	1.746	-	-	-	-	-	-	-	9,304.43	96.30
6	1.982	1.703	△ 69.9	△ 78.9	△ 62.3	△ 66.6	△ 64.2	△ 59.3	△ 61.2	9,810.31	96.52
7	1.968	1.697	-	-	-	-	-	-	-	9,691.12	94.50
8	1.957	1.694	-	-	-	-	-	-	-	10,430.35	94.84
9	1.954	1.680	△ 64.6	△ 73.6	△ 56.1	△ 59.0	△ 55.0	△ 61.7	△ 47.4	10,302.87	91.49
21年10月	1.932	1.680	-	-	-	-	-	-	-	10,066.24	90.29
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9,640.99	89.19

	対前月(期)										
H18年	0.090	0.143	-	-	-	-	-	-	-	3,687.80	6.10
19	0.080	0.179	-	-	-	-	-	-	-	885.95	1.46
20	△ 0.129	△ 0.080	-	-	-	-	-	-	-	△ 4,845.53	△ 14.38
20年Ⅲ	△ 0.040	0.000	-	-	-	-	-	-	-	△ 1,032.41	3.10
Ⅳ	△ 0.047	△ 0.048	-	-	-	-	-	-	-	△ 4,057.90	△ 11.44
21年Ⅰ	△ 0.087	△ 0.089	-	-	-	-	-	-	-	△ 794.63	△ 2.44
Ⅱ	△ 0.047	△ 0.073	-	-	-	-	-	-	-	1,377.53	3.57
Ⅲ	△ 0.028	-	-	-	-	-	-	-	-	826.78	△ 3.62
7	△ 0.016	△ 0.003	-	-	-	-	-	-	-	△ 915.69	△ 0.09
8	△ 0.029	△ 0.002	-	-	-	-	-	-	-	△ 179.56	2.47
9	0.005	0.005	△ 6.0	△ 7.8	△ 4.5	△ 10.1	△ 14.6	△ 3.2	8.6	△ 865.82	△ 2.53
20年10月	△ 0.018	△ 0.007	-	-	-	-	-	-	-	△ 3,006.50	△ 6.42
11	0.015	△ 0.017	-	-	-	-	-	-	-	△ 585.58	△ 3.52
12	△ 0.044	△ 0.024	△ 16.6	△ 28.3	△ 6.6	4.3	△ 1.5	△ 8.8	△ 15.5	△ 67.83	△ 5.53
1	△ 0.029	△ 0.041	-	-	-	-	-	-	-	△ 132.13	△ 0.87
2	△ 0.028	△ 0.029	-	-	-	-	-	-	-	△ 636.71	2.09
3	△ 0.030	△ 0.019	2.8	0.9	4.6	7.3	△ 9.4	14.8	2.3	69.80	5.37
4	△ 0.022	△ 0.020	-	-	-	-	-	-	-	1,003.38	1.13
5	△ 0.003	△ 0.010	-	-	-	-	-	-	-	536.47	△ 2.70
6	△ 0.022	△ 0.043	0.7	△ 0.4	1.5	△ 9.5	7.7	△ 1.4	7.0	505.88	0.22
7	△ 0.014	△ 0.006	-	-	-	-	-	-	-	△ 119.19	△ 2.02
8	△ 0.011	△ 0.003	-	-	-	-	-	-	-	739.23	0.34
9	△ 0.003	△ 0.014	5.3	5.3	6.2	7.6	9.2	△ 2.4	13.8	△ 127.48	△ 3.35
21年10月	△ 0.022	0.000	-	-	-	-	-	-	-	△ 236.63	△ 1.20
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 425.25	△ 1.10
備考	(総合) 年・月末残ベース		前年同期(月)と比較して、業況が「良化」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を減じた数値 (四半期月末時点)							日経平均(225種) (期中平均値)	(期中平均値)
資料 出所	「福島県金融経済概況」日本銀行福島支店 「金融経済統計月報」日本銀行		財団法人福島県産業振興センター							日本経済新聞社	日本経済新聞社

食品製造業

(1) 豆腐油揚：
デフレスパイラルが中小商工業者に来ている。価格は納入先との関係で決まる。前政権の負の問題が現政権の足かせになっているように思う。

(2) パン：
前月同様、新型インフルエンザの影響により委託加工数が大幅に減少、売上高は過去最低。

(3) 味噌醤油：
1. 味噌の主原料である米が不安定な状況にあります。今後の加工用米の動向が不透明であり、組合員は不安を抱えております。
2. 醤油についても、原料価格は高値水準を維持しており、外麦の価格が下がりつつも、従来の価格より高いことも悩んでいます。

(4) 酒造：
酒別を問わず全て悪い。12月は需要が一番多い月なので、12月の落込みは一年の落ち込みになる。ギフトも期待出来ないのが厳しい年になると思われる。

繊維・同製品

(5) ニット：
フェアにおいては広告の量・手段等により売上が影響することが如実に理解できました。

木材・木製品製造業

(6) 製材業：
秋需も盛り上がり欠け、一時回復気配にあった木材市況もまた低迷してきており、住宅及び紙需要の回復が期待されない中で、この傾向は当面続くものと懸念される。

(7) 外材輸入：
平成21年の新設住宅着工数は、政府による優遇税制や減税措置にもかかわらず80万戸割れ(前年比約30%減)が確実であり、木材の主要な用途である住宅需要が低迷、業界全体が厳しい状況下にある。

紙・紙加工品製造業

(8) 紙器・段ボール箱：
暮らしの包装商品が大きく変貌している現在、紙器業界は受注減、収益の低下におかれ苦難の道を辿っており、新しい商品の開発が急がれている。こうしたなか、紙器関係機械メーカーも紙器との共存共栄のため新価値創造をめざし新しい収益の柱を模索している。

印刷

(9) 印刷：
受注量は昨年比減少が続いている様子である。(10%~20%)

窯業・土石製品製造業

(10) 陶磁器：
昨年の組合の共販よりは少し良いが、前月同様期待していた金額ほど伸びてはいない。

(11) 砕石(県北地区)：
1. 売上高対前月8.3%の減
2. 対前年同月8.6%の減
3. 全数量の対前年16.7%の減
4. 再生骨材の代用としての出荷は対前年8.7%の増

(12) 生コン：
平成21年11月の組合員生コン出荷数量は対前年同期12.4%の減。官公需は対前年10.2%、民需は15.3%の減少であった。減少傾向の中で出荷が増加した地区は下記の通り。

民需の増加した地区：
相双地区 …45.6%の増
高速道路、風力発電工事等
官公需の増加した地区：
いわき地区 …7.9%の増
港地区護岸工事、浄化槽工事等

鉄鋼・金属・一般機械製造業

(13) 鉄鋼(郡山地区)：
受注量が少なくなっている。新政権になって、すべて先のばしになっている。又、中止等があり何も決定できず、先の見通したたず、ここにきて低調な動きになっている鉄鋼建築土木業界です。

(14) 各種プラント機器：
当組合のプラント設備関連業界は、見積引合いとも前月同様、減少傾向で推移しており、今期3月一杯まで続くものと予想される。
売上高並びに収益面は、共に前年同月及び前月と比較しても減少傾向であり引き続き、非常に厳しい状況である。

(15) 電子工業：
12月に入り即減産の生産調整が入り、来年3月迄、一段と厳しい受注減少となる見通しであり、さらなる工場閉鎖並びに人員削減に拍車がかかると思われます。

卸売業

(16) 卸売業(県中地区)：
景況は相変わらず厳しい。卸も小売も在庫のアイテム数をしぼり仕入を極力控えている。

(17) 再生資源：
世の中の景気全体がデフレ状況にあり、厳しい現実を迎えている。最近、小規模の同業者の中に扱い品の過当競争や、発生減少により商売が立ち行かなくなり、廃業する業者が出て来ている。
大型ヤードも、この状態が続くと、人員整

理や経費の大幅な圧縮も考えざるを得ないと思う。地力のある業者のみが生き残るのか考えさせられる。

(18) 卸売業 (県南地区) :

1. 売上高、収益状況が前月に引き続き悪化している。
2. 資金繰りで先行き不透明感があり、年末支払で不安がある。
3. 雇用環境の改善が予想できない。

小売業

(19) 共同店舗 (浜通り地区のOショッピングセンター) :

11月は中旬に売出し・イベント等を開催したが振わず、業種別では文化娯楽用品・食料品が前年比2桁の伸びとなったものの、全体では売上・来店客数とも前年を下回った。

(20) 共同店舗 (県中地区のNショッピングセンター) :

衣料関連は相変わらず低調続き、食品・雑貨は販売個数は増加しているのに、客単価が減少しており、デフレの傾向がはっきり出てきている。

(21) 石油 :

原油調達コストが微弱ながら上昇し、元売仕切も連動し若干値上りとなった。しかしながら、小売価格には反映されず、各企業において利益が圧縮されている厳しい状況にある。

(22) 米穀 :

消費者の低価格指向は相変わらず強い。市場は全体的な在庫の過剰基調のなか、市場価格は若干の下向値下りの気配が見られるが、一段と経営は苦しくなっている。

(23) 電機 :

各地での合展・個展があり、テレビの販売は増加しているが、収益の面では比例していない。今年12月から2011年7月迄は売上は伸びていくが、収益の面では非常に厳しいです。

商店街

(24) 商店街 (福島市) :

3日まで商店街イベントが行われた。イベントや祭礼等がある時以外は人出が少なく、終了後は前月同様に低調だった。

(25) 商店街 (郡山市) :

前年比、前月比とも久しぶりに横ばいを保ちました。第一日曜日のイベント、百貨店の改装オープンに10周年記念催事、土日の駐車場稼働率が高く、まちなかは賑わいが出ました。やはり、イベント・催事の効果は大きいようです。このまま12月に続いてくればと期待するところです。

(26) 商店街 (南相馬市) :

デフレが定着した感があり、商店街はより一層収益率・客数減の方向です。

(27) 商店街 (会津若松市) :

百貨店の閉店セール初日、2日目までは賑わいがあったが、後は静かになってしまった。

商店街のアーケード、クリスマス飾り、今年は例年よりも少し早めに地元の高中生達のリースや点灯式が行われた。

(28) 商店街 (いわき市) :

本当に厳しい11月でした。テレビなどマスコミ等が“デフレ”のニュースを大量に流す影響も大きい。お客様が“価値”ではなく“安さ”を判断材料にされている。11月末からセール体制に入っている郊外店もあり、商店街は店舗ごとの対応なのでインパクトがない。

サービス業

(29) クリーニング :

デフレによる価格競争の激化、大手衣料品店に代表されるファッション衣料の低価格化、カジュアル化、顧客の高齢化等いろいろな要因が重なり、客数・点数とも減少している。需要の減少対策も講じたいが、その計画も立てられない状況。

(30) 旅館業 (土湯温泉) :

毎週土曜日や連休は、早目の忘年会などもあり、宿泊入込はまずまずであった。しかし、平日は閑散とする日も多く、小売業の部門では、11月に入り、前年同月比で売上が5%近く落ち込んでいた。11月に入り、老舗旅館が1軒休業した。(平成22年3月31日までの予定)

(31) ビルメンテナンス :

今回、会津地区において入札の話があり組合としてエントリーを考えたが、組合は直接の雇用者を使って行う事、組合員会社へ出すのはダメとの事で組合としては辞退する事にした。これでは組合としてエントリーできない。今回は、組合員2社が単独でエントリーした。

(32) 廃棄物収集運搬業 :

1. 取引先の支払の条件が悪化している。
2. リサイクル関係の売先 (特に中国向け)、円高の影響を受け悪化 (売価ダウン)。

(33) 旅行業 :

今月は、大手旅行会社が全国の店舗の約20%店舗を閉鎖し、ネット事業を強化すると発表した。また航空会社では、来年4月から旅行会社に対する国内線の発券手数料を半減するとの発表があったばかりである。ネットの販売が本格化する中で旅行業という業態が大きく変化してきている。世界的不景気もさることながらネット事業の展開に中小旅行会社はどのような対応をしなければならないか課題である。

建設業

(34) 建設業 (県一円) :

公共工事の発注件数が減少しており、これから年度末にかけて厳しくなってくる。又、民主党政権になってから公共事業費の減少で先行不安の要素ばかりで、明るい材料がまったくない。

(35) 建設業 (県南地区) :

補正予算により、公共事業は若干増加し受

注が増えているが、収益状況は改善していない。

民需については、相変わらず低迷したままである。

(36) 管工事：

1. 給水・排水設備申請とも前月比では増加するも、前年同月累計対比では減少している。
2. 公共工事の予算圧縮と住宅建築の減少により、組合員事業所の業績が悪化しており、先行見通しも立たず大変厳しい状況にある。

(37) 専門工事：

県入札制度監視委員会の意見聴取会に参加、専門工事業者アンケート結果から元請・下請関係の悪化と元請の下請けいじめの現状について意見を申し述べた。

一向に改善されない元請・下請適正化の原因は公共事業の減少と元請建設業の価格競争、低価格入札にあり、設計価格の見直し、最低

制限価格の改定について改善を求めた。次年度では一歩進めた活動を検討したい。

運輸業

(38) トラック運送（県北地区）：

激減している輸送量の低下は月日を重ねて多少改善はしてきているものの回復力に乏しい。その要因としては世界同時不況に端を発しているが、中国など経済発展が大きく進んできたことによる日本経済の競争力の低下、所謂日本経済の地盤沈下から来る深刻な不況要因ではないかと心配される。

(39) ハイヤータクシー：

厳しい環境で、さらに燃料値上げとなることからますます悪化の状況か。12月利用増となつてほしいが。

3 景気動向指数(福島県)

概 括

10月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス)は、先行指数91.9ポイント、一致指数72.6ポイント、遅行指数99.4ポイントとなった。

- 先行指数は、前月(82.8ポイント)を9.1ポイント上回り、8か月連続の上昇となった。
- 一致指数は、前月(69.3ポイント)を3.3ポイント上回り、8か月連続で上昇となった。
- 遅行指数は、前月(103.4ポイント)を4.0ポイント下回り、2か月振りの下降となった。

図1 景気動向指数(CI)グラフ <一致指数> (H17=100)



※CI(Composite indexes) : 景気変動の勢いや大きさといった、景気の強弱を定量的に計測する指数であり、採用系列の変化率(前月比)を合成して作成。

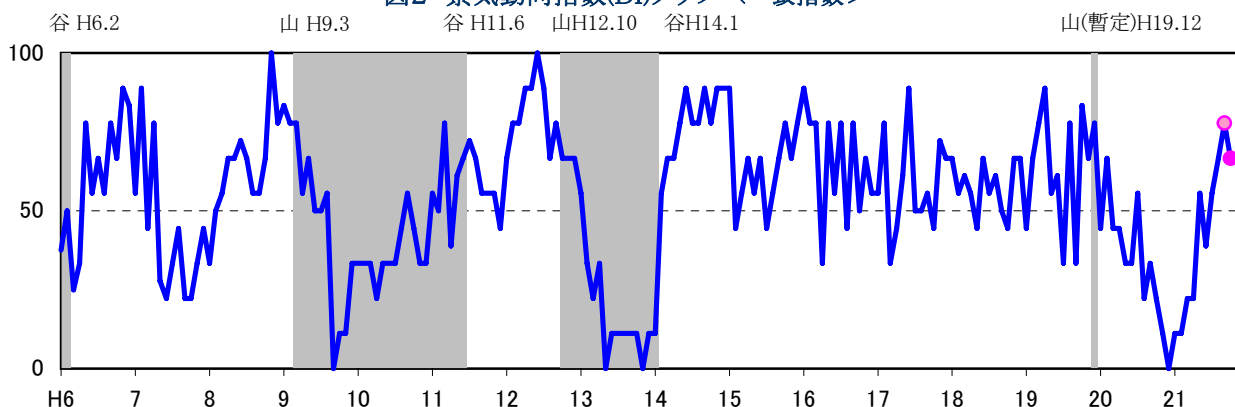
※グラフ上の景気基準日付のうち、シャドウ部分は景気後退期を示している。

CI指数表

区 分	景 気 動 向 指 数 (CI指数)					
	福島県(平成21年12月25日公表)			全 国(平成21年12月17日公表)		
	先行指数	一致指数	遅行指数	先行指数	一致指数	遅行指数
H21.5	66.0	58.2	110.6	77.7	87.4	84.1
6	70.6	58.9	107.4	80.9	88.6	84.1
7	74.4	62.7	104.0	82.9	90.0	82.5
8	77.2	63.6	102.4	84.0	91.6	83.2
9	82.8	69.3	103.4	87.5	93.2	83.2
10	91.9	72.6	99.4	89.4	94.3	83.7
採用指標数	8指標	9指標	7指標	12指標	11指標	6指標
資 料 出 所	県:統計分析課「福島県景気動向指数」 国:内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」					

※一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合があります。

図2 景気動向指数(DI)グラフ <一致指数>



※DI(Diffusion Indexes) : 景気局面とその転換点の把握を目的として、採用系列の変化の方向(3か月前比)を合成して指数を作成。おおむね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張局面、下回っていれば景気後退局面と判断される。

【景気基準日付(暫定)設定～第14景気循環の山(暫定)～】

本県の第14景気循環の山(暫定)を平成19年12月と暫定的に設定した。

第14景気循環(暫定)の拡張期間は71か月となった。

なお、第14景気循環の景気基準日付の確定は、第14景気循環終了時に行うため、今回の基準日付(暫定)とは多少ずれる場合がある。

3 「福島県金融経済概況」

平成21年12月14日 日本銀行福島支店

- 県内景気は、引き続き厳しい状況にあるが、生産面を中心に持ち直している。もっとも先行きへの不透明感が強い。

(総合判断 上方修正)

すなわち、最終需要をみると、個人消費は、各種政策効果から自動車販売や家電販売の一部で持ち直しているものの、厳しい雇用・所得情勢を背景に大型小売店の売上がさらに減少しているなど、全体としては弱い動きとなっている。住宅投資は前年を下回る低調な状況が続いている。公共投資は前年を上回っている。設備投資は大幅な減少が引き続き見込まれている。

鉱工業生産動向をみると、水準はなお低いが、内外の在庫調整の進捗や政策効果から、持ち直している。

消費者物価指数は前年を下回って推移している。

こうしたもとで、12月短観でみた県内企業の業況判断D.I.は、3回調査連続で「悪い」超幅が縮小した。

4 「月例経済報告」

平成21年12月22日 内閣府

- 景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。

(総合判断 前月据置)

- ・ 輸出は、アジア向けを中心に、増加している。生産は、持ち直している。
- ・ 企業収益は、大幅な減少が続いているが、そのテンポは緩やかになっている。設備投資は、下げ止まりつつあるものの、このところ弱い動きもみられる。
- ・ 企業の業況判断は、依然として厳しい状況にあるものの、全体として持ち直しの動きが続いている。ただし、中小企業では先行きに慎重な見方となっている。
- ・ 雇用情勢は、依然として厳しい。
- ・ 個人消費は、持ち直しの動きが続いている。
- ・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。

先行きについては、当面、厳しい雇用情勢が続くとみられるものの、海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待される。一方、雇用情勢の一層の悪化や海外景気の下振れ懸念、デフレや金融資本市場の変動の影響など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。

(政策の基本的態度)

政府は、家計の支援により、個人消費を拡大するとともに、新たな分野で産業と雇用を生み出し、日本経済を自律的な回復軌道に乗せ、内需を中心とした安定的な経済成長を実現するよう政策運営を行う。このため、「緊急雇用対策」を推進することとし、また、①現下の経済・雇用情勢への「緊急対応」、②「成長戦略への布石」の2つの視点に基づき、「雇用」、「環境」、「景気」を主な柱とする「明日の安心と成長のための緊急経済対策」を、12月8日、閣議決定した。

政府は、日本銀行と一体となって、強力かつ総合的な取組を行い、デフレの克服、景気回復を確実なものとしていくよう、政策努力を重ねていく。日本銀行に対しては、こうした政府の取組と整合的なものとなるよう、適切かつ機動的な金融政策運営によって経済を下支えするよう期待する。日本銀行は、12月1日、新しい資金供給手段を導入することを決定した。

5 「最近の県経済動向」 総合判断

	11月(11月25日公表)	12月(12月25日公表)
総合判断	<p>県内の景気は、生産活動において、持ち直しの動きがみられるものの、雇用は厳しい状況が続いており、個人消費も乗用車など一部に明るい動きがみられるが総じて弱い状態にあるなど、引き続き厳しい状況にある。</p> <p>(総合判断:前月据置) →</p>	<p>県内の景気は、生産活動において、緩やかながら持ち直しの動きが続いているものの、雇用は厳しい状況が続いており、個人消費も乗用車など一部に明るい動きがみられるが総じて弱い状態にあるなど、引き続き厳しい状況にある。</p> <p>(総合判断:前月据置) →</p>



「最近の県経済動向」はホームページでも御覧いただけます。

URL <http://www.pref.fukushima.jp/toukei/>

※ 次回公表予定日は平成22年1月25日です。

■ 御利用にあたって ■

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に資するよう、県内の経済状況をマクロ的観点から簡潔に概況を述べ、視覚的にもとらえやすくできるようグラフも併せて示しています。

採用している経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して26の指標を選んで、全国の推移状況とも比較できるようにしています。さらに、福島県景気動向指数の要点をグラフで示しています。

また、参考として県内の景況感に県民の生の声を反映させることを目的に、(財)福島県産業振興センターの中小企業経営動向調査の中の「自由意見」(四半期公表)や福島県中小企業団体中央会が行っている「中小企業景況レポート」(月次公表)を掲載しております。さらに、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」の中から毎月の概要を抜粋して掲載しております。

■ お願い ■

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、『福島県 最近の県経済動向から抜粋(又は作成)』と御記入くださるようお願いいたします。

福島県企画調整部統計分析課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話 024(521)7143 内線 (2430)

FAX 024(521)7892

E-mail toukei_bunseki@pref.fukushima.jp